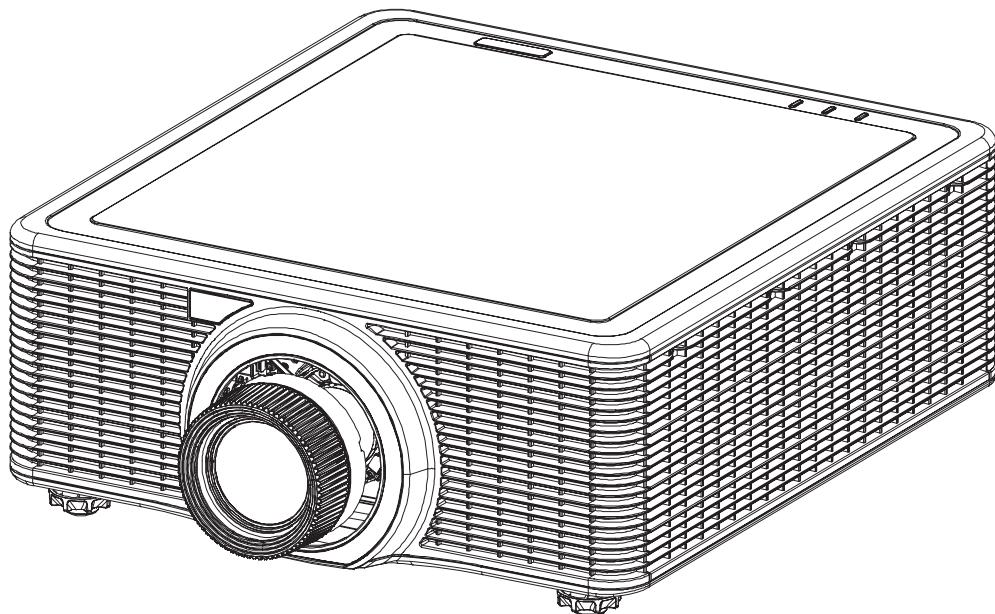


EIKI

取扱説明書



マルチメディアプロジェクタ
モデル EK-815U
(投影レンズはオプションです)

特徴および設計

本マルチメディアプロジェクタは、携帯性、耐久性、使いやすさを実現するため、最も高度な技術を用いて設計されています。本プロジェクタ、高輝度かつエコフレンドリーなシステム、10 億 7000 万色のパレット、およびデジタル光処理 (DLP) 技術を利用してしています。

シンプルなコンピュータシステムの設定

プロジェクタは、ほとんどすべてのコンピュータの出力信号に素早く順応するマルチスキャンシステムを装備しています。WUXGA 解像度までを受け入れることができます。

プレゼンテーションのための便利な機能

デジタルズーム機能を使用すると、プレゼンテーション中に重要な情報に注目を集めることができます。

レーザーダイオードの制御

投影レーザーダイオードの明るさを手動で選択することができます（定電力モード、定輝度モード、またはEcoモード）。

背景色機能

無信号背景機能により、信号が利用できない場合のスクリーンの背景（「ロゴ」、「単色（青）」、「単色（黒）」、または「単色（白）」スクリーン）を指定することができます。

多言語メニュー表示

操作メニューは、13 の言語（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語ロシア語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語、インドネシア語、オランダ語およびアラビア語）で利用可能です。

セキュリティ機能

セキュリティ機能により、プロジェクタのセキュリティを確保することができます。

LAN ネットワーク機能

本プロジェクタには、有線 LAN ネットワーク機能がロードされます。ネットワーク経由でプロジェクタ操作・管理することができます。
詳細は、41 ページおよび 46 ~ 53 ページを参照してください。

自動セットアップ機能

この機能により、リモコンの自動ボタンを押すだけで、自動入力検索および自動信号調整を行うことができます。

電源管理

電源管理機能は、消費電力を低減し、レーザーダイオードの寿命を維持します。

注記:

本取扱説明書のスクリーンメニューおよび画像は、実際の製品と若干異なる場合があります。
取扱説明書は、予告なく変更される場合があります。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© Copyright 2017

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

本書で使用されているその他の製品名は、各社の所有物であり、確認されています。

安全に関する重要な情報

重要:

プロジェクトを使用する前に、このセクションを慎重に読むことを強くお勧めします。これらの安全性および使用方法の説明により、長年にわたりプロジェクトを安全に使用することができます。今後の参照のために、本取扱説明書を保管してください。

使用される記号

装置および本取扱説明書で、危険な状況を警告するために警告記号が使用されます。次のスタイルが、重要な情報への注意を喚起するために、本取扱説明書で使用されています。

注記:

トピックに関する追加情報を提供します。

重要:

見落としてはならない追加情報を提供します。

注意:

装置に損傷を与える可能性のある状況を警告します。

警告:

装置を損傷したり、危険な環境を作成したり、怪我の原因となる可能性のある状況を警告します。

本取扱説明書では、OSD メニューの構成部分および項目は、次の例のように太字フォントで標記されます：

「リモコンの **メニュー** ボタンを押して、**メイン** メニューを開きます。」

安全に関する一般的な情報

- 装置のケースを開けないでください。装置にはユーザーが修理できる部品はありません。修理については、資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
- 本取扱説明書および装置ケースのすべての警告と注意に従ってください。
- 投影レーザーダイオードは、設計により、非常に明るくなっています。レーザーダイオードが点灯しているときは、目の損傷を避けるために、レンズを直視しないでください。
- 不安定な面、カート、またはスタンドに装置を置かないでください。
- 水の近く、直射日光の当たる場所、または加熱装置の近くでシステムを使用しないでください。
- 本またはバッグなど重いものを装置の上に置かないでください。

安全上のご注意

- プロジェクタを設置・操作する前に本取扱説明書をよくお読みください。
- プロジェクタは、多くの便利な機能を提供します。適切に操作することで、完全に機能を活用し、良好な状態でそれを維持することが可能になります。そうしないと、装置の耐用年数が短くなるだけではなく、故障、火災、またはその他の事故を引き起こす可能性があります。
- プロジェクタが正常に動作しない場合は、もう一度、本取扱説明書を読み、操作方法やケーブル接続を確認し、トラブルシューティングの箇所の解決策をお試しください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

注意:



感電の恐れがあるので開けないでください



注意:

感電の危険を減らすためにカバー(またはバック)を取り外さないでください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。サービス担当者にお尋ねください。



この記号は、感電の危険を構成する危険な電圧がこの装置内に存在することを示しています。



この記号は、本装置のユーザーマニュアルに重要な操作および保守に関する指示があることを示しています。

EU ユーザーの場合

以下で説明するシンボルマークとリサイクルシステムは、EU 諸国に適用され、世界の他の地域の国には適用されません。

ご利用の製品は、リサイクルおよび/または再利用できる高品質な素材や部品で設計・製造されています。

シンボルマークは、その製品寿命において、電気・電子機器、電池および蓄電池を家庭廃棄物とは別に処分する必要があることを意味します。

注記:

化学記号がシンボルマークの下に印刷されている場合、この化学記号は電池または蓄電池に一定濃度の重金属が含まれていることを意味します。これは、次のように示されます: Hg: 水銀、Cd: カドミウム、Pb: 鉛。欧洲連合では、使用される電気・電子機器、電池および蓄電池を個別に回収するシステムがあります。



お住まいの地域の廃棄物収集/リサイクルセンターで正しく廃棄してください。

お住まいの環境を保全するために、ご協力をお願いします。

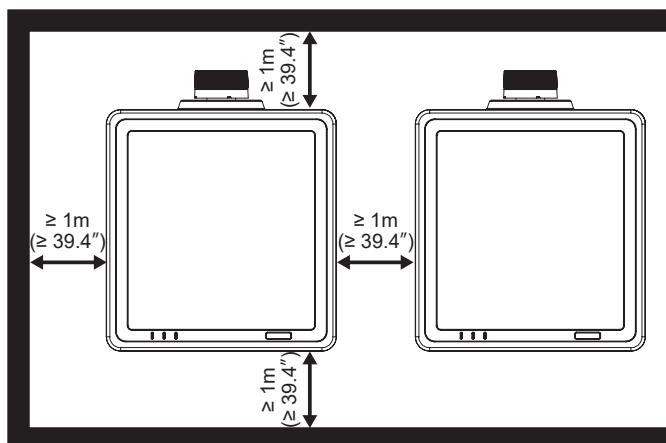


安全上の注意事項

注意:

- プロジェクタは接地する必要があります。
- 火災や感電を避けるために、雨滴や高湿度にプロジェクタを曝さないでください。

- 本プロジェクタは、投影レンズから強い光を生成します。レンズを直視することを避けてください。そうしないと、目が損傷する可能性があります。特に子供たちが光を直視しないように注意してください。
- 適切な位置にプロジェクタを配置してください。そうしないと、火災の危険をもたらす可能性があります。
- プロジェクタを換気および冷却するために、棚の上面、側面および背面から適切なスペースを開けてください。下の図は、維持すべき最小距離を示します。プロジェクタをキャビネットなどの密閉された環境に配置する場合、これを満たされなければなりません。



- プロジェクタの通気口をふさがないでください。不十分な熱放射により、寿命が短くなったり、危険を引き起こしたりする可能性があります。
- プロジェクタを長期間使用しない場合は、AC 電源プラグを取り外してください。



注意:

- 故障または事故を防ぐために、キッチンなどの、脂っぽい、湿った、または煙のある状態にプロジェクタを設定しないでください。プロジェクタが油または化学物質に接触した場合は、劣化する可能性があります。
- 本取扱説明書を読み、今後の参照のために保管してください。
- 電源プラグ/電源接続器は切断装置として使用されますので、容易に操作できる状態に維持しなければなりません。

安全に関する注意事項

- 製品を操作する前に、すべての安全および操作に関する説明を読む必要があります。
- ここに記載されるすべての説明を読み、後で使用するために、それらを保管してください。清掃する前に、AC 電源から本プロジェクタを切断してください。液体クリーナーまたはエアゾールクリーナーを使用しないでください。
- 清掃には湿らせた布を使用してください。
- プロジェクタに表示されているすべての警告と指示に従ってください。
- 雷が鳴っている時にプロジェクタを追加保護する場合、または、長期間使用せずに放置した場合は、コンセントからプラグを抜いてください。これにより、雷や電源ラインのサージによる損傷を防ぐことができます。
- 本装置を雨に曝したり、例えば、湿った地下室、プールの近くなどの水の近くで使用したりしないでください。
- 危険を引き起こす可能性がありますので、製造業者によって推奨されないアタッチメントを使用しないでください。
- 本プロジェクタを不安定なカート、スタンド、またはテーブルに置かないでください。プロジェクタが落下して、子供または大人に重大な傷害を引き起こしたり、プロジェクタの重大な損傷を引き起こしたりする可能性があります。
- 製造業者により推奨される、あるいは、プロジェクタと共に販売されるカートまたはスタンドと一緒に使用してください。
壁または棚への取り付けは、製造業者の指示に従う必要があり、また、製造業者が承認する取り付けキットを使用する必要があります。
- 装置とカートの組合せを注意して移動させる必要があります。急停止、過剰な力、および凹凸面により、装置とカートの組み合わせが転倒する恐れがあります。
- キャビネットの背面と底面のスロットおよび開口部は、装置の動作の信頼性を確保し、過熱から保護するために、換気用に設置されています。
- 開口部を布またはその他の材料で覆わないようにしてください。また、底部開口部をベッド、ソファ、ラグ、またはその他の類似面にプロジェクタを置くことによってふさがないようにしてください。本プロジェクタをラジエータまたはヒートレジスタの傍または上に配置しないようにしてください。
- 適切な換気が提供されていないかぎり、本プロジェクタを本棚などのビルトイン設備に設置しないでください。
- 火災や感電の原因となる危険な電圧ポイントやショート部品に触れる可能性がありますので、キャビネットのスロットを通して、本プロジェクタに物を差し込まないでください。プロジェクタに液体をこぼさないでください。
- 空調機器の通風ダクトの近くに設置しないでください。
- 本プロジェクタは、ラベルに表示されている電源タイプでのみ動作させる必要があります。
- 供給される電力の種類がわからない場合は、ご購入の販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
- 火災または感電の原因になる恐れがありますので、コンセントや延長コードに過負荷をかけないでください。電源コードの上に物を置かないでください。人が歩くことでコードが破損する恐れがある場所に、本プロジェクタを設置しないでください。
- カバーを開いたり、取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険に曝される恐れがありますので、本プロジェクタを自分で修理しようとしないでください。全てのサービスについて、資格を有するサービススタッフにお問い合わせください。
- 以下の状況の場合は、本プロジェクタをコンセントから切り離して、資格のあるサービス担当者に修理を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷したり、擦り切れたりしたとき。
 - プロジェクタに液体をこぼした場合。
 - プロジェクタを雨または水に曝した場合。
 - プロジェクタが、取扱説明書に従うことにより、正常に動作しない場合。その他の制御を不適切に調整すると、プロジェクタを損傷したり、通常動作に復元するために技術者の莫大な労力が必要になりますので、取扱説明書の対象となっている制御のみを調整します。

- プロジェクタを落下させた場合、または、キャビネットが破損している場合。
- プロジェクタの性能に著しい変化が見られる場合、これは修理の必要性を示しています。
- 交換部品が必要な場合は、サービス技術者が元の部品と同じ特性を持ち、製造業者が指定している交換部品を使用していることを確認してください。無許可の交換は、火災、感電、または怪我の原因になります。
- 本プロジェクタの保守または修理の完了時に、プロジェクタが安全な動作状態にあることを判断するために、日常的な安全確認の実施をサービス技術者に依頼してください。

欧洲連合内のユーザーのための情報

これはスクリーン上に画像を投影するための装置であり、家庭環境での室内照明として使用することを意図していません。
指令 2009/125/EC。

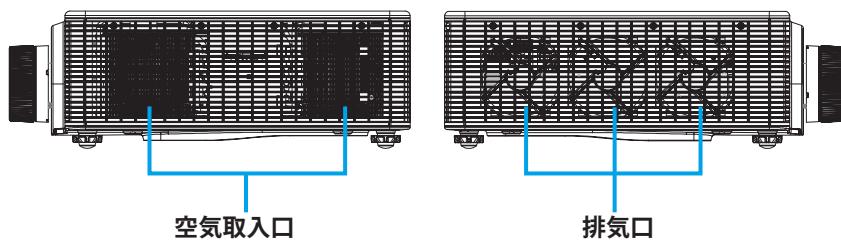
空気循環

キャビネットの通気口は、換気のために設置されています。製品の信頼性の高い動作を保証し、過熱から保護するために、これらの開口部をふさいだり、覆ったりしないでください。



注意:

- 熱い空気が排気口から排出されます。プロジェクタを使用・設置する場合は、次の予防措置を取る必要があります。
- 可燃物またはスプレー缶をプロジェクタの近くに置かないでください。熱い空気が通気口から排出されます。
- 排気口を少なくとも 1 m 任意の物体から離してください。
- 排気口の周辺部、特にネジや金属部分に触れないでください。プロジェクタが使用されている間、この領域は高温になります。
- プロジェクタの上に何も置かないでください。キャビネットの上に置いた物体は、熱により損傷するだけではなく、火災の危険を引き起こす可能性があります。
- 冷却ファンはプロジェクタを冷却するために設置されています。
- ファンの動作速度は、プロジェクタ内の温度に応じて変化します。



プロジェクタの移動

プロジェクタを移動するときは、レンズ保護、レンズとキャビネットの損傷を防ぐために調整可能フットを縮めます。

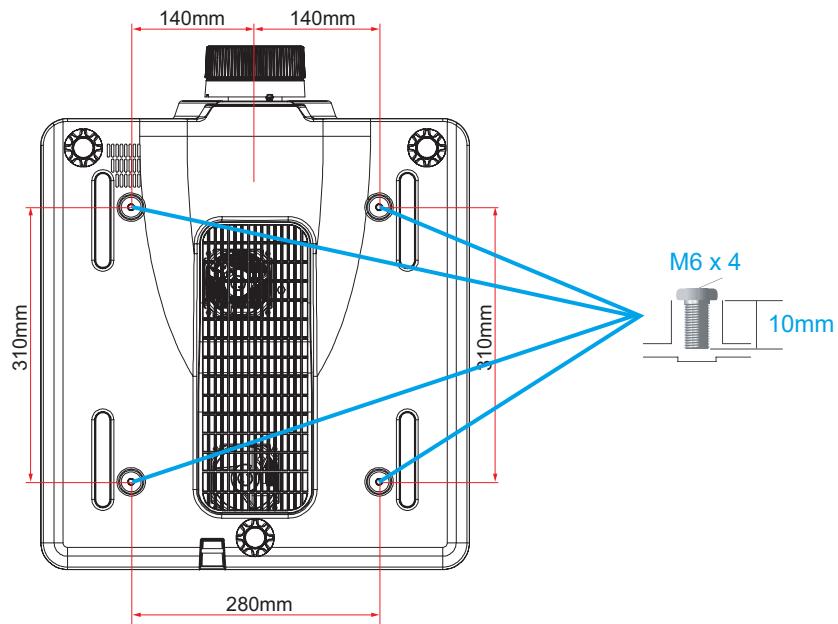
適切にプロジェクタを設置

- ほぼ水平にプロジェクタを設定してください。
- 適切にプロジェクタを設置してください。不適切な設置により、レーザーダイオードの寿命が短くなり、さらには火災の危険を引き起こす可能性があります。



プロジェクタを天井取り付けする場合の注意事項

- 資格のある担当者のみが、天井取り付けを許可されます。
- 保証期間中に不正な販売店から購入したシーリング・ブラケットに起因する傷や損傷については責任を負いかねます。
- 使用していないときは、直ちに、天井取り付けブラケットを取り外してください。
- 設置作業中は、トルクドライバの使用を推奨します。電動ドライバまたは衝撃型ドライバを使用しないでください。
- 詳細は、ブラケットの取扱説明書を読んでください。
- ブラケットは、予告なしに変更が施されます。



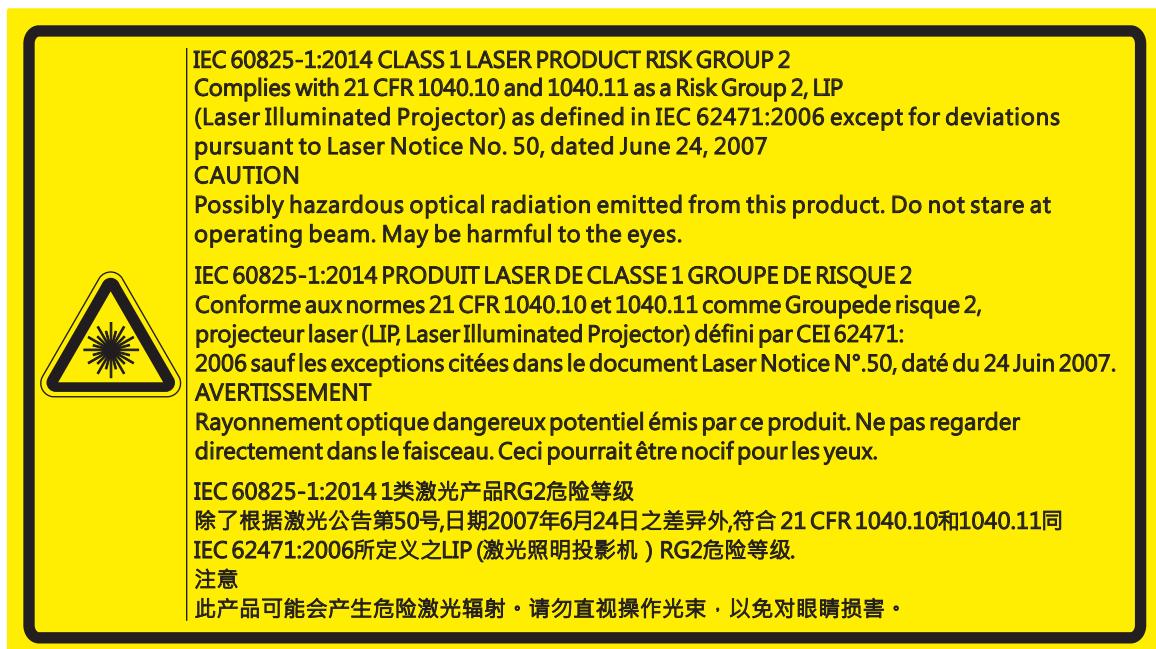
プロジェクタの移動または輸送時の注意事項

- ・ プロジェクタを落としたり、ぶつけたりしないでください。損傷または誤動作の恐れがあります。
- ・ プロジェクタを持ち運ぶときは、適切なキャリングケースを使用してください。
- ・ 不適切な輸送ケースを使って、宅配便またはその他の輸送サービスにより、プロジェクタを輸送しないでください。これにより、プロジェクタを損傷させる可能性があります。宅配便またはその他の輸送サービスによるプロジェクタの輸送については、販売店にご相談ください。

重要な情報

レーザーの安全性に関する注意事項

本製品は、IEC 60825-1:2014 のリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品として分類され、リスクグループ 2 として 21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠し、レーザーに関する通知第 50 号 (2007 年 6 月 24 日付け) に基づく逸脱を除いて、IEC 62471:2006 に定義される LIP (レーザーイルミネーションプロジェクタ) に準拠しています。



- 本プロジェクタには、クラス 4 レーザーモジュールが内蔵されています。分解または変更は非常に危険であり、試行されるべきではありません。
- 具体的にユーザーガイドに指示されていない操作または調整により、レーザー放射線被ばくのリスクが発生します。
- レーザー放射への曝露による損傷を受ける可能性がありますので、プロジェクタを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクタがオンのときに光線を見つめないでください。明るい光により、恒久的な眼の損傷が引き起こされる恐れがあります。
- プロジェクタをオンに切り替える際は、投影範囲内の人が誰もレンズを見ていないことを確認してください。
- 制御、調整または操作手順に従わない場合、レーザー放射への曝露による損傷が引き起こされる恐れがあります。
- レーザーへの曝露の可能性を避けるための注意事項に関する明確な警告を含む組立、操作およびメンテナンスのための十分な指示。

コンプライアンス

FCC に関する注意事項

注記: 本装置はテスト済みであり、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス A デジタル装置の制限に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、また、無線周波エネルギーを放射する可能性があります。指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置が電源のオフとオンを切り替えることによって決定することができるラジオやテレビの受信に有害な干渉を起こす場合、ユーザーは以下のいずれかの方法で干渉を是正してください。

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 装置と受信機の距離を離す。
- 受信機を接続している回路とは別の回路のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者に相談する。

FCC 規則パート 15 のサブパート B におけるクラスAの制限に準拠するために、シールドケーブルの使用が必要です。

手順に指定されない限り、装置に変更や修正を加えないでください。そのような変更または修正を行った場合、装置の動作を停止するように要求される可能性があります。

モデル番号: EK-815U

商標名: EIKI

責任者: EIKI International, Inc.

所在地: 30251 Esperanza Rancho Santa Margarita CA 92688-2132

電話番号: 800-242-3454 (949-457-0200)

注記:

商業、産業やビジネス環境で使用を対象としています。

家庭用に使用しないでください。

AC 電源コードの要件

本プロジェクタに付属の AC 電源コードは、購入した国内で使用するための要件を満たしています。

米国およびカナダ用の AC 電源コード:

米国およびカナダで使用される AC 電源コードは、Underwriters Laboratories (UL) に記載され、カナダ標準協会 (CSA) により認定されています。

AC 電源コードは、アース式 AC ラインプラグを装備しています。これは、プラグがコンセントに適合することを確認するための安全機能です。この安全機能を無効にしようとしないでください。コンセントにプラグを挿入できない場合は、電気技師に連絡してください。

警告:

剥き出しのフレキシブルコードの付いたプラグは、電気の通ったコンセントに接続すると危険です。

この電源リード線の配線は、次のコードに合わせて着色されています:

- 緑と黄 アース
- 青 ニュートラル
- ブラウン ライブ

本装置の電源リード線の色がプラグの端子を特定する色マークに対応していない場合は、次のように行ってください:

- 緑色と黄色に着色された配線は、文字 E により、または、安全アース記号によりマークされるか、あるいは、緑色または緑色と黄色に着色されたプラグ内の端子に接続する必要があります。
- 青色に着色された配線は、文字 N または黒色でマークされている端子に接続する必要があります。
- 茶色に着色された配線は、文字 L または赤色でマークされている端子に接続する必要があります。

警告:

この装置は、接地する必要があります。

注記:

コンセントを装置の近くで、簡単にアクセスできる場所に設置する必要があります。

コンテンツ

はじめに	1
梱包チェックリスト	1
プロジェクタ部品の概要	2
正面-右側面図	2
背面図	3
内蔵キーボード	4
底面図	5
リモコンの各部	6
リモコン動作範囲	8
プロジェクタおよびリモコンのボタン	8
リモコンコード	8
リモコンの電池の挿入	9
 セットアップと操作	10
投影レンズの取り付け	10
プロジェクタの起動と終了	12
プロジェクターをオンに	12
プロジェクターをオフに	12
プロジェクタの水平度の調整	13
ズーム、フォーカスおよびキーストーンの調整	14
レンズシフト調整の使用	15
垂直/水平方向のレンズシフト	15
オプションレンズと投影サイズ	17
投影レンズ	17
投影サイズ v.s 投影距離	19
 オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー設定	20
OSD メニュー制御	20
OSD の操作	20
OSD 言語の設定	21
OSD メニューの概要	22
画像メニュー	29
3D 表示メニュー	30
HSG 調整メニュー	31
詳細メニュー	32

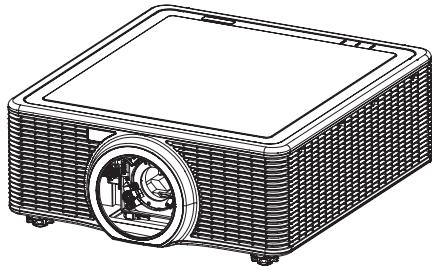
画面メニュー	33
歪み補正メニュー	34
PIP/PBP メニュー	35
設定メニュー	37
レンズ機能メニュー	38
メニュー設定メニュー	39
PIN メニュー	40
通信メニュー	41
オプションメニュー	43
電源設定メニュー	44
光源設定メニュー	45
ウェブブラウザを使用して、プロジェクタを制御する	46
有線 LAN 端末機能	46
サポートされる外部装置	46
LAN RJ45 コネクタ	47
RS232 by Telnet Function	51
 保守およびセキュリティ	54
投影レンズの交換	54
プロジェクターのクリーニング	55
レンズの清掃	55
ケースの清掃	55
Kensington® ロックの使用	56
 トラブルシューティング	57
一般的な問題と解決策	57
トラブルシューティングのためのヒント	57
LEDエラー・メッセージ	58
画像の問題	59
レーザーダイオードの問題	59
リモコンの問題	60
プロジェクタの修理を依頼する	60
HDMI に関する Q & A	61
 仕様	62
仕様	62
投影距離対投影サイズ	63
投影距離とサイズの表	63
タイミングモードの表	64
プロジェクタの寸法	68

規制コンプライアンス.....	69
FCC 警告	69
カナダ	69
安全性認定.....	69

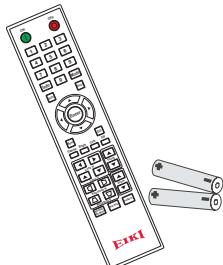
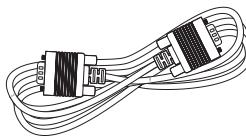
はじめに

梱包チェックリスト

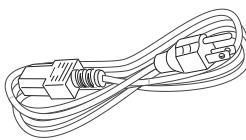
慎重にプロジェクタを開梱し、次のアイテムが含まれていることを確認してください：



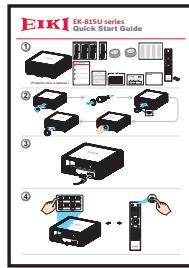
DLP プロジェクター

リモコン
(単四電池 2 本付き)

VGA ケーブル



電源コード



クイックスタートガイド

* 中国以外の地域の場合：電源コード x 2 (米国および欧州)

* 中国の場合：電源コード x 1



レンズカバー

* A01、A03、および A13 レンズ用



レンズカバー

* A06 レンズ用



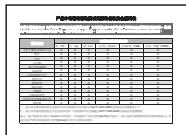
中国用 CD-ROM (本取扱説明書)



安全ガイド



米国用保証書



中国用 RoHS カード



中国用品質保証合格証



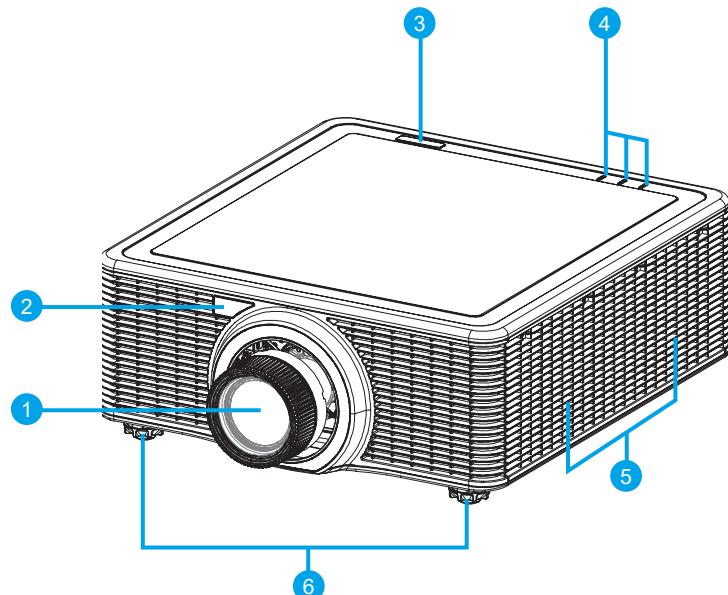
中国用保証書

アイテムが不足している場合、破損している場合、または、装置が動作しない場合は、直ちに販売店にご連絡ください。保証サービスのために装置を返送する必要がありますので、元の梱包材を保管しておくことをお勧めします。

注記:

- ほこりの多い環境でプロジェクタを使用しないでください。

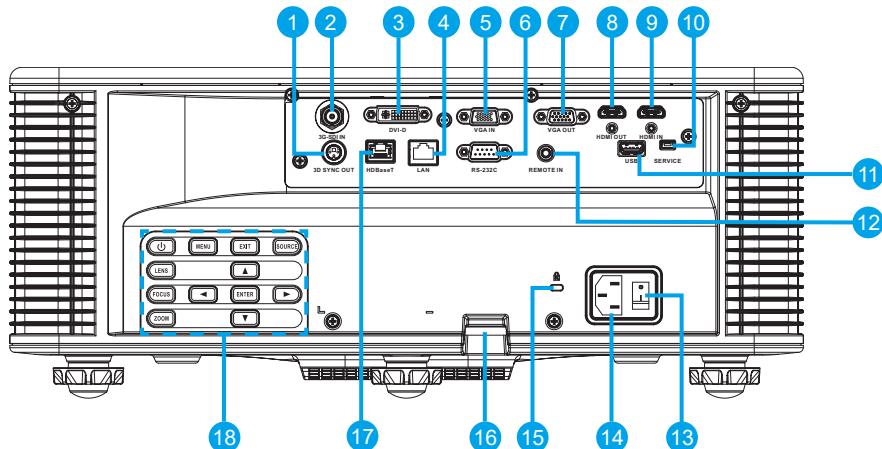
プロジェクタ部品の概要

正面-右側面図

アイテム	ラベル	説明	参照ページ
1	投影レンズ	レンズの自動制御・調整が可能です: 垂直・水平オフセット、ズームおよびフォーカス。	-
2	正面赤外線センサー	赤外線リモコンからの信号を受信します。プロジェクタとの中断のない通信を行うために、センサーへの信号経路を遮る物がない状態に維持してください。	8
3	上部赤外線センサー		
4	LED ステータスインジケータ	プロジェクタのステータスを表示します。	58
5	冷却空気口 (吸気)	プロジェクタの過熱を防止するために、通気口を遮る物がないようにしてください。	-
6	調整可能足	プロジェクタを水平にするために足を上げ下げしてください。	13

重要:

プロジェクタの通気口は、プロジェクタのレーザーダイオードを冷却された状態に維持するように、良好な空気循環を可能にします。通気口をふさがないでください。

背面図

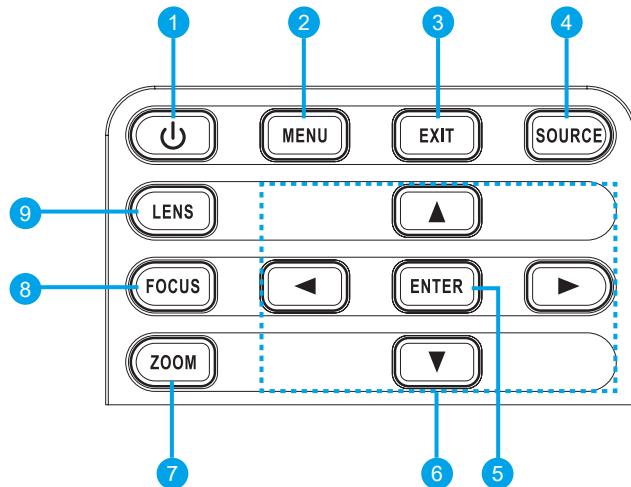
アイテム	ラベル	説明	参照ページ
1	3D 同期出力	3D 赤外線メガネ発信器を接続します (メモ: 特定の 3D 赤外線メガネのみ)	-
2	3G-SDI 入力	3G-SDI 装置からの BNC コネクタ付き同軸ケーブルを接続します。	-
3	DVI-D	DVI ソースに接続します。	-
4	LAN	イーサネットからの LAN ケーブルを接続します。	-
5	VGA 入力	コンピュータまたはコンポーネント装置からの VGA ケーブルを接続します。	-
6	RS-232C	リモコン用の RS-232 シリアルポートケーブルを接続します。	-
7	VGA 出力	VGA ケーブルをディスプレイに接続します。	-
8	HDMI 出力	HDMI ケーブルをディスプレーに接続します。	-
9	HDMI 入力	HDMI 装置からの HDMI ケーブルを接続します。	-
10	サービス	保守でのみ使用します。	-
11	USB	Wi-Fi ドングルを接続します。	-
12	リモート入力	シリアル制御プロジェクタ用のリモコン有線端子に接続します。	-
13	電源スイッチ	電源をオフ/オンにするには、電源ボタンを切り替えます。	12
14	AC 入力	電源供給アダプタに接続します。	12
15	Kensington ロック	カウンタ、テーブルなどにプロジェクタを固定するために使用します。	56
16	セキュリティバー	プロジェクタを保護するために使用します。	-
17	HDBaseT	RJ45 Cat5/Cat6 イーサネットケーブルを接続し、非圧縮ハイビジョン映像制御信号を入力します。	-
18	内蔵キーボード	プロジェクタを制御します。	4

注記:

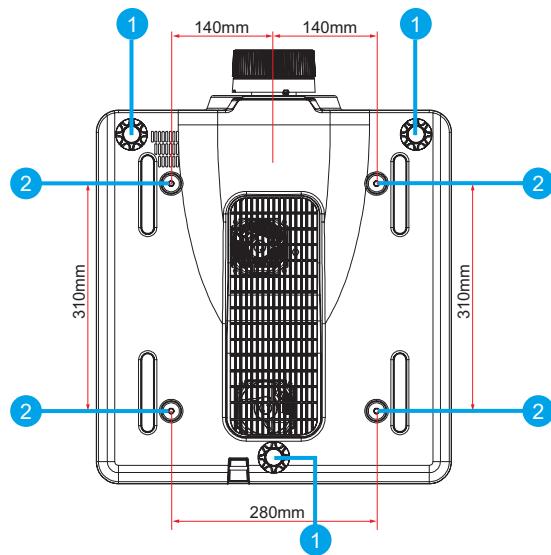
- この機能を使用するには、プロジェクタのオン/オフを切り替える前に電源アダプタ/ケーブル/コードに接続する必要があります。
- 意図される用途以外の目的で、このジャックを使用しないでください。

警告:

安全のため、接続する前にプロジェクタの電源をすべて切断し、装置を接続してください。

内蔵キー

アイテム	ラベル	説明	参照ページ
1	消費電力	プロジェクタのオンまたはオフを切り替えます。	12
2	メニュー	メニューを表示します。	20
3	終了	前レベルに戻る、または、最上位レベルの場合は、メニューを終了します。	20
4	Source	メイン画像またはPIP/PBP 画像に対する入力を選択します。	-
5	Enter	<ul style="list-style-type: none"> ハイライト表示されたメニュー項目を選択します。 値を変更または受け入れます。 	20
6	矢印キー	<ul style="list-style-type: none"> 設定を上または下に調整します。 メニュー内を移動します。 	20
7	ズーム	ズームを調整します。	14
8	フォーカス	フォーカスを調整します。	14
9	レンズ	レンズの垂直または水平オフセット設定を調整します。	-

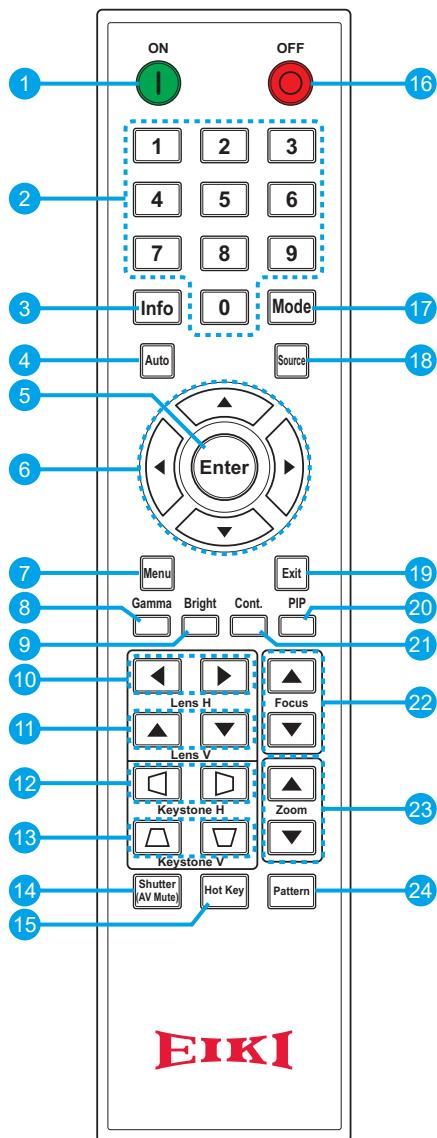
底面図

アイテム	ラベル	説明	参照ページ
1	調整可能足	プロジェクタを水平にするために足を上げ下げしてください。	13
2	天井取り付けサポート穴	天井にプロジェクタを取り付ける方法については、販売店にお問い合わせください。	-

注記:

- 設置する際は、UL 規格の天井取り付けマウントのみを使用していることを確認してください。
- 天井設置の場合、最大ねじ深さ 10 ミリメートル (0.39 インチ) と取り付け金具および M6 ネジを取り付けに推奨します。
- 天井取り付けの構造は、適切な形状と強度のあるものでなければなりません。天井取り付けマウントの耐荷重は、設置する装置の重量を超えていなければなりません。また、追加の予防措置として、60 秒間にわたって、装置の 3 倍の重量 (71.4 kg 以上) に耐えられなければなりません。

リモコンの各部



重要:

- 明るい蛍光灯が点灯した状態で、プロジェクタを使用しないでください。特定の高周波蛍光灯は、リモコン操作を中断させる恐れがあります。
- リモコンとプロジェクタの間の経路を妨害する物がないことを確認してください。リモコンとプロジェクタの間の経路に障害物がある場合は、プロジェクタスクリーンなどの特定の反射面を使って、信号を反射させることができます。
- プロジェクタのボタンとキーは、リモコンの対応するボタンと同じ機能を持っています。本取扱説明書は、リモコンに基づいて機能を説明します。

注記:

レーザーに関する通知第 50 号 (2007 年 6 月 24 日付け) に基づく逸脱を除いて、レーザー製品に対する FDA 性能基準に準拠しています。

アイテム	ラベル	説明	参照ページ
1	パワーオン	プロジェクタをオンに切り替えます。	12
2	数字キー	数字 (PIN コードなど) またはソースホットキーを入力します。 ソースホットキー: 1: VGA 2: HDMI 3: DVI-D 4: HDBaseT 5: LAN 6: 3G-SDI	-
3	情報	ソース画像の情報を表示します。	-
4	自動	自動的に画像を最適化します。	-
5	Enter	• ハイライト表示されたメニュー項目を選択します。 • 値を変更または受け入れます。	20
6	矢印キー	• 設定を上または下に調整します。 • メニュー内を移動します。	20
7	メニュー	メニューを表示します。	20
8	ガンマ	中間範囲レベルを調整します。	-
9	ブライト	画像の光量を調整します。	-
10	レンズ H	画像の水平位置を調整します。	-
11	レンズ V	画像の垂直位置を調整します。	-
12	キーストーン H	水平キーストーンを調整します。	14
13	キーストーン V	垂直キーストーンを調整します。	14
14	シャッター (AV 消音)	ビデオ画像を表示または非表示にします。	-
15	ホットキー	プリセットキーを素早く選択します。	-
16	切り	プロジェクタをオフに切り替えます。	12
17	モード	プリセット表示モードを選択します。	-
18	Source	メイン画像または PIP/PBP 画像に対する入力を選択します。	-
19	終了	前レベルに戻る、または、最上位レベルの場合は、メニューを終了します。	20
20	PIP	PIP/PBP のオン/オフを切り替えます。	-
21	コントラスト	明るさと暗さの差を調整します。	-
22	フォーカス	必要に応じて、画像の鮮明度を向上させるためにフォーカスを調整します。	14
23	ズーム	所望の画像サイズを達成するためにズームを調整します。	14
24	パターン	テストパターンを表示します。	-


注意:

本書に記述されている以外の制御、調整、または手順を行うと有害なレーザー光を浴びる可能性があります。

リモコン動作範囲

リモコンはプロジェクタを制御するために赤外線送信を使用しています。プロジェクタに直接リモコンを向ける必要はありません。リモコンをプロジェクタの側面または背面に垂直に維持していない場合、リモコンは、半径約 10 メートル (32.8 フィート) で、プロジェクタレベルの上下 30 度の範囲で正常に動作します。プロジェクタがリモコンに応答しない場合は、少し近くに移動してください。

プロジェクタおよびリモコンのボタン

プロジェクターは、リモコンまたはプロジェクタ背面にあるボタンを使用して操作できます。すべての操作は、リモコンを用いて行うことができます。しかし、プロジェクタのボタンは使用が制限されています。

リモコンコード

このプロジェクタには、10 種類のリモコンモード (コード 0 ~ コード 9) が割り当てられています。リモコンコードを切り替えると、隣にある複数のプロジェクタまたはビデオ機器を同時に操作しているときに、他のリモコンの干渉を防ぐことができます。プロジェクタのリモコンコードを変更してから、リモコンのコードを変更してください。通信メニュー (41 ページ) の「プロジェクタアドレス」を参照してください。

リモコンのコードを変更するには:

リモコンのモードボタンと番号ボタン (0 ~ 9) を 3 秒間長押しして、コードの間を切り替えます。

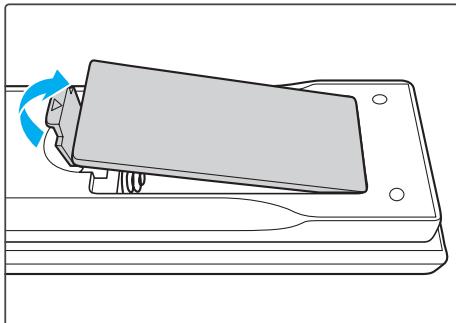
デフォルト設定: 0

プロジェクタのプロジェクタアドレスを変更するには:

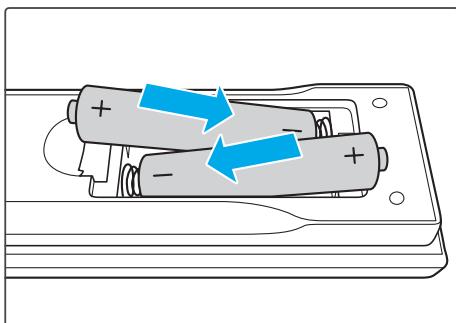
設定メニューのプロジェクタアドレスを選択します。(設定 → 通信 → プロジェクタアドレス)

リモコンの電池の挿入

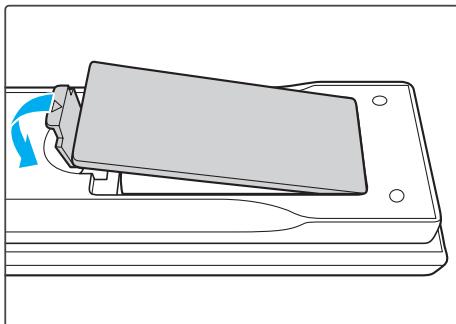
1. 図に示すように、電池カバーを外します。



2. 図に示すように、電池室の内部に正しい極性 (+/-) で電池を挿入します。



3. カバーを取り付けます。



注意:

- 単四電池のみを使用します (アルカリ電池を推奨します)。
- 条例の規制に従って、使用済み電池を廃棄してください。
- 長期間プロジェクタを使用しないときは電池を取り外してください。

セットアップと操作

投影レンズの取り付け

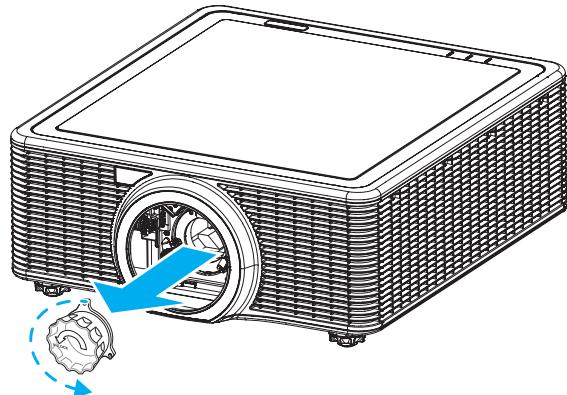
プロジェクタをセットアップする前に、プロジェクタの投影レンズを取り付けてください。

重要:

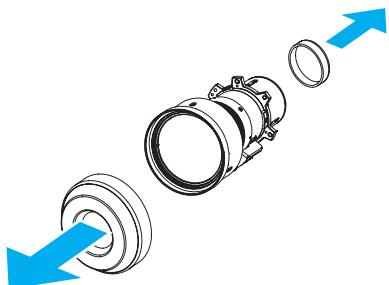
- 取り付け前に、プロジェクタを使用する場所を確認し、適切なレンズを準備してください。
- 詳細については、プロジェクタを購入した販売代理店に問い合わせてください。

1. 内蔵キーパッドの「」またはリモコンの「」を 2 回押して、プロジェクタをオフに切り替えます。

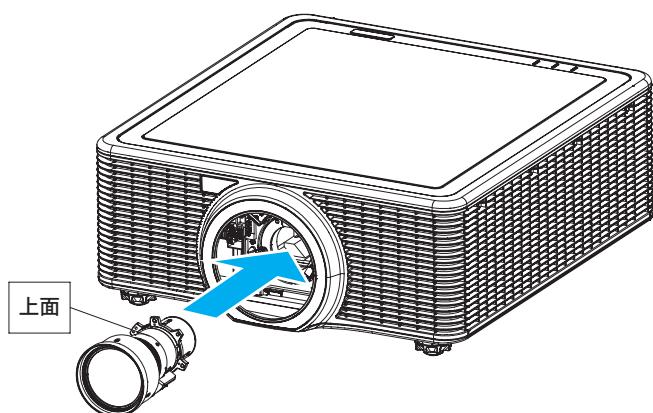
2. レンズキャップを反時計回りに回します。次に、レンズキャップを取り外します。



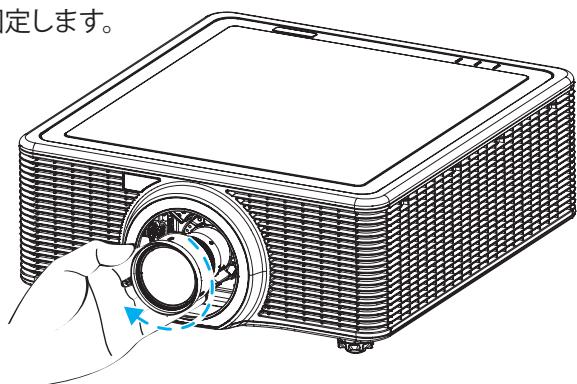
3. レンズの両方のレンズキャップ(前面および背面)を取り外します。



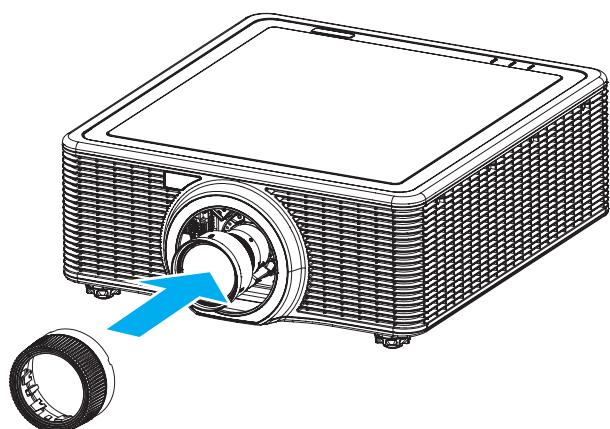
4. レンズアセンブリの「上面」ラベルを上に向けて、アセンブルリをレンズマウントに取り付けます。



5. レンズを時計回りに回転させて、所定の位置にレンズを固定します。



6. レンズカバーをレンズ上にしっかりと取り付けます。



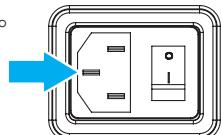
プロジェクタの起動と終了

プロジェクターをオンに

1. プロジェクタに電源コードを接続します。そして、コンセントにもう一方の端を接続します。内蔵キーパッドの電源ボタンが点灯します。

重要:

電源スイッチがオン位置にあることを確認します。



2. 接続された装置をオンに切り替えます。

3. リモコンの「①」または内蔵キーパッドの「▶」を押して、プロジェクタをオンに切り替えます。ステータス LED が長いオレンジ色点滅をします。
プロジェクタのスプラッシュ画面が表示され、接続された機器が検出されています。



4. 2台以上の入力装置が接続されている場合、リモコンの ソース キーを押して、入力ソース (VGA、HDMI、DVI-D、HDBaseT、LAN、または 3G-SDI) を選択します。
5. プロジェクタが選択したソースを検出して、画像を表示します。

プロジェクターをオフに

1. 内蔵キーパッドの「▶」またはリモコンの「○」を押して、プロジェクタをオフに切り替えます。警告メッセージが、表示される画像に表示されます。
2. 再度、内蔵キーパッドの「▶」またはリモコンの「○」を押して、選択を確定します。再度、「▶」または「○」を押さないと、10 秒後に警告メッセージが消えます。

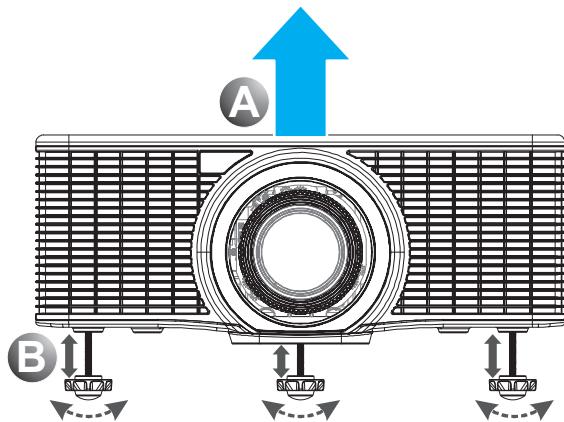
注意:

すべてのファンが停止する (プロジェクタが冷却されたことを示します) まで、電源コードを取り外さないでください。

プロジェクタの水平度の調整

プロジェクタをセットアップする時は、次の点に注意してください:

- ・ プロジェクタのテーブルまたはスタンドは、水平かつ頑丈でなければなりません。
- ・ スクリーンに垂直になるようにプロジェクタを配置します。
- ・ ケーブルが安全な場所にあることを確認します。それらにつまずく可能性があります。



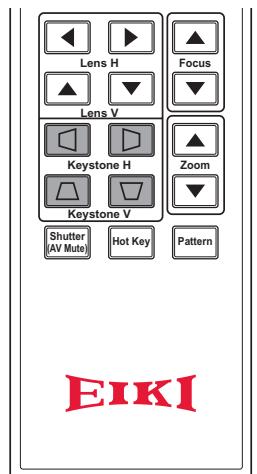
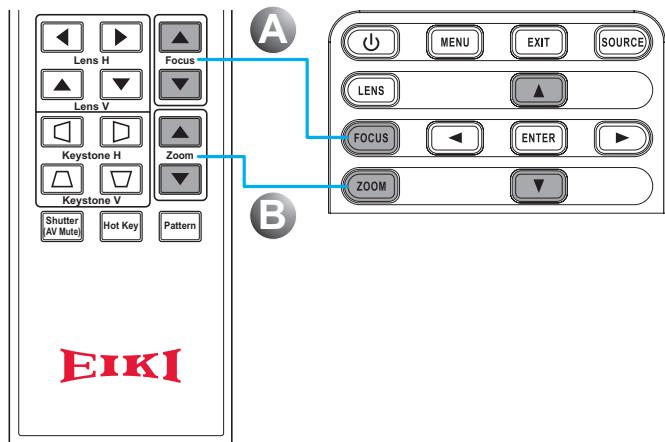
1. プロジェクタのレベルを上げるには、プロジェクタ **A** を持ち上げます。
2. プロジェクタの底面の、変更したい調整フットを探します。
3. プロジェクタを上げるには調整可能足を時計回りに回転させ、下げるには反時計回りに回転させます。必要に応じて、残りの足で繰り返します **B**。

ズーム、フォーカスおよびキーストーンの調整

1. ズーム ボタンを使って、投影画像およびスクリーンサイズを変更します **B**。

2. フォーカスボタンを使って、投影画像を鮮明にします **A**。

3. キーストーン H ボタン (リモコン上) を使って、水平方向のキーストーンを調整し、画像をより正方形に近づけます。キーストーン V ボタン (リモコン上) を使って、垂直方向のキーストーンを調整し、画像をより正方形に近づけます。

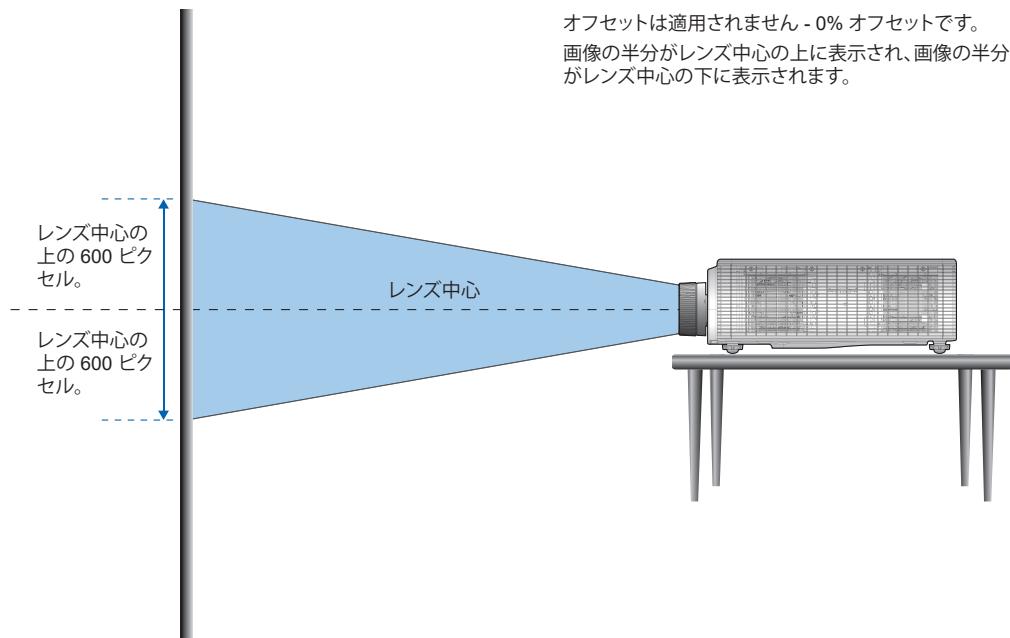


レンズシフト調整の使用

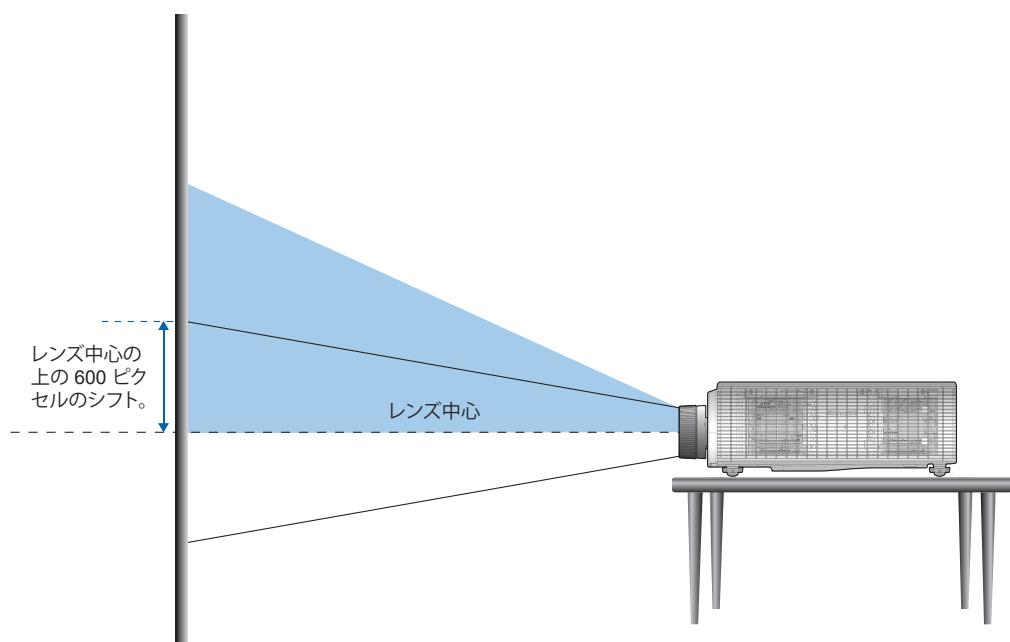
モーター駆動シフト機能を使って、投影レンズを上、下、右、左に移動することができます。この機能により、スクリーン上の画像の位置合わせが容易になります。レンズシフトは、一般的に画像の高さまたは幅の割合として表されます。下図を参照してください。

垂直/水平方向のレンズシフト

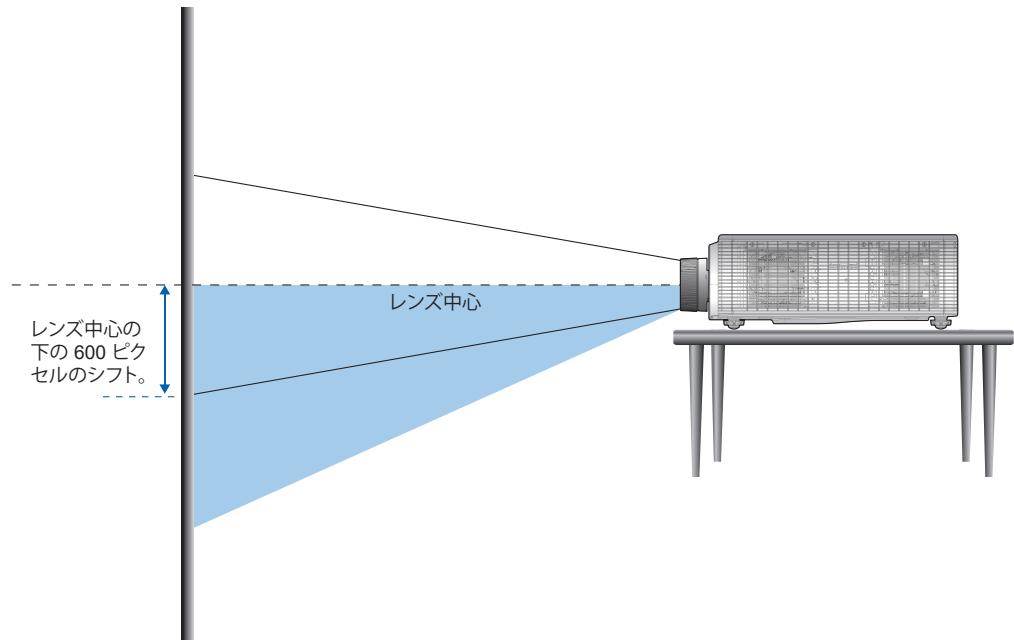
垂直方向の画像オフセット: 0% オフセット (WUXGA)



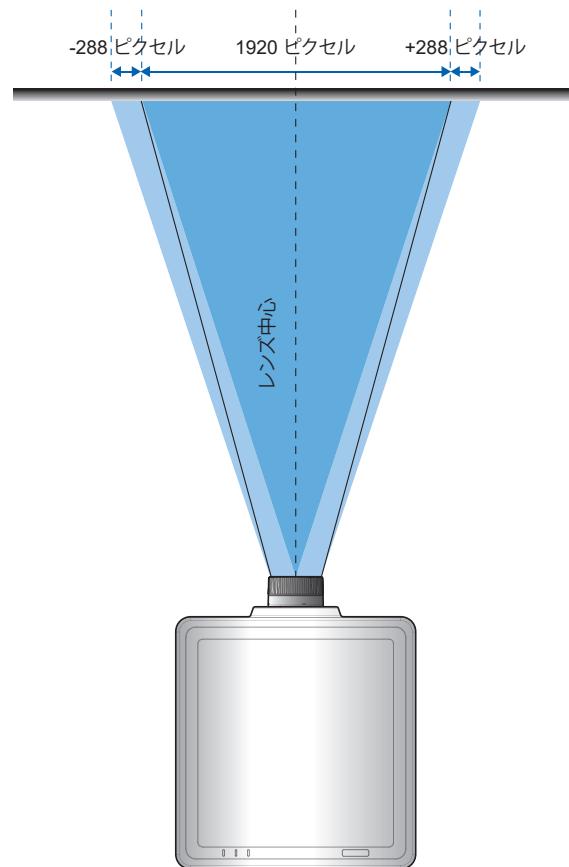
垂直方向の画像オフセット: 50% オフセット (WUXGA)



垂直方向の画像オフセット: -50% オフセット (WUXGA)



水平方向の画像オフセット: -15% オフセット (WUXGA)



オプションレンズと投影サイズ

投影レンズ

全投影レンズは、下表の通りです。

アイテム	レンズタイプ										
レンズモデル名	A16 (AH-A25010)	A15 (AH-A22010A)	A01 (AH-A22020)	A06 (AH-A22050)	A03 (AH-A21010)	A13 (AH-A23010)					
焦点距離 (f)	9.49-9.55	11.11-14.06	14.03-17.96	18.07-22.59	22.56-42.87	42.60-80.90					
F番号	2.4	2.30-2.53	2.30-2.57	2.00-2.32	2.30-3.39	2.30-2.74					
フォーカス仕様 (MTF)	67 lp/mm	67 lp/mm	67 lp/mm	67 lp/mm	67 lp/mm	67 lp/mm					
ズーム範囲(比)	ズームなし	1.26X	1.28X	1.25X	1.9X	1.9X					
ズームおよびフォーカス調整	電動										
スローレシオ	0.361 (120")	0.75-0.95	0.95-1.22	1.22-1.52	1.52-2.92	2.90-5.50					
投影距離	0.96 ~ 2.65m	0.79 ~ 6.21m	1.01 ~ 7.98m	1.29 ~ 9.93m	1.61 ~ 19.00m	3.18 ~ 34.77m					
投影画像サイズ	120"~350"	50~300"									
電動レンズシフト	水平: ±15% 垂直: ±50%										
	投影レンズ: A01, A03, A13										
	プラットフォーム	H	V	△H	△V						
	0.67 インチ WUXGA	15%	50%	15%	50%						
電動レンズシフト	投影レンズ: A06										
	プラットフォーム	H	V	△H	△V						
	0.67 インチ WUXGA	15%	50%	10%	40%						
電動レンズシフト	投影レンズ: A15										
	プラットフォーム	H	V	△H	△V						
	0.67 インチ WUXGA	15%	50%	1%	25%						

	<p>A01/A03/A13 のレンズシフト範囲:</p> <p style="text-align: center;">レンズシフト範囲</p>
電動レンズシフト	<p>A06/A15 のレンズシフト範囲:</p> <p style="text-align: center;">レンズシフト範囲</p> <p style="text-align: center;">より暗く</p>

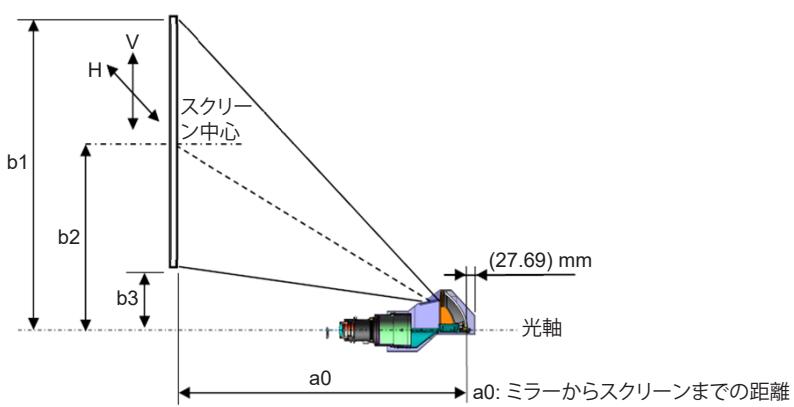
- レンズシフト精度は、1 ステップあたり 0.5 ピクセルです。
- レンズが、記載された動作範囲を超えて移動すると、画面の端が暗くなったり、画像の焦点が外れる可能性があります。

他のオプション部品:

部品番号	アイテム
AH-B34020	Wi-Fi ドングル
AH-B34030	有線リモコンケーブル

投影サイズ v.s 投影距離

プラットフォーム			WUXGA (16:10)												
DMD			0.67"												
投影レンズ			A16 超短距離 投射		A15 短距離投射		A01 ワイドズーム		A06 標準		A03 ロングズーム		A13 長ロングズーム		
スローレシオの仕様 (強制ワイド/望遠)			0.361 (120")		0.75	0.95	0.95	1.22	1.22	1.52	1.52	2.92	2.90	5.50	
ズーム比			該等なし			1.26X		1.28X		1.25X		1.9X		1.9X	
投影距離 (m) (最小/最大)			0.96	2.65	0.79	6.21	1.01	7.98	1.29	9.93	1.61	19.00	3.18	34.77	
投影スクリーンサイズ			投射距離 (m)												
スローレシオ定数 c (強制ワイド/望遠)			0.34		0.761	0.966	0.966	1.240	1.236	1.543	1.546	2.948	2.822	5.362	
スローレシオ定数 d (強制ワイド/望遠)			5.606		-2.66	-2.71	-3.00	-2.84	-4.14	-4.01	-5.94	-5.18	13.63	11.74	
対角 (インチ)	高さ (m)	幅 (m)	該当なし			幅	望遠	幅	望遠	幅	望遠	幅	望遠	幅	
50	0.67	1.08	該当なし			0.79	1.01	1.01	1.31	1.29	1.62	1.61	3.12	3.18	5.89
60	0.81	1.29	該当なし			0.96	1.22	1.22	1.57	1.56	1.95	1.94	3.76	3.78	7.05
70	0.94	1.51	該当なし			1.12	1.43	1.43	1.84	1.82	2.29	2.27	4.39	4.39	8.20
80	1.08	1.72	該当なし			1.28	1.64	1.63	2.11	2.09	2.62	2.60	5.03	5.00	9.36
90	1.21	1.94	該当なし			1.45	1.85	1.84	2.38	2.35	2.95	2.94	5.66	5.61	10.51
100	1.35	2.15	該当なし			1.61	2.05	2.05	2.64	2.62	3.28	3.27	6.30	6.21	11.67
110	1.48	2.37	該当なし			1.78	2.26	2.26	2.91	2.89	3.62	3.60	6.93	6.82	12.82
120	1.62	2.58	0.96			1.94	2.47	2.47	3.18	3.15	3.95	3.94	7.57	7.43	13.98
130	1.75	2.80	1.04			2.10	2.68	2.67	3.44	3.42	4.28	4.27	8.20	8.04	15.13
140	1.88	3.02	1.11			2.27	2.89	2.88	3.71	3.69	4.61	4.60	8.84	8.65	16.29
150	2.02	3.23	1.18			2.43	3.09	3.09	3.98	3.95	4.95	4.94	9.47	9.25	17.44
160	2.15	3.45	1.26			2.60	3.30	3.30	4.24	4.22	5.28	5.27	10.11	9.86	18.60
170	2.29	3.66	1.33			2.76	3.51	3.51	4.51	4.48	5.61	5.60	10.74	10.47	19.75
180	2.42	3.88	1.40			2.92	3.72	3.72	4.78	4.75	5.94	5.93	11.38	11.08	20.91
190	2.56	4.09	1.48			3.09	3.93	3.92	5.05	5.02	6.27	6.27	12.01	11.69	22.06
200	2.69	4.31	1.55			3.25	4.13	4.13	5.31	5.28	6.61	6.60	12.65	12.29	23.22
250	3.37	5.38	1.91			4.07	5.17	5.17	6.65	6.61	8.27	8.27	15.82	15.33	28.99
300	4.04	6.46	2.28			4.89	6.21	6.21	7.98	7.95	9.93	9.93	19.00	18.37	34.77
350	4.71	7.54	2.65			該等なし									



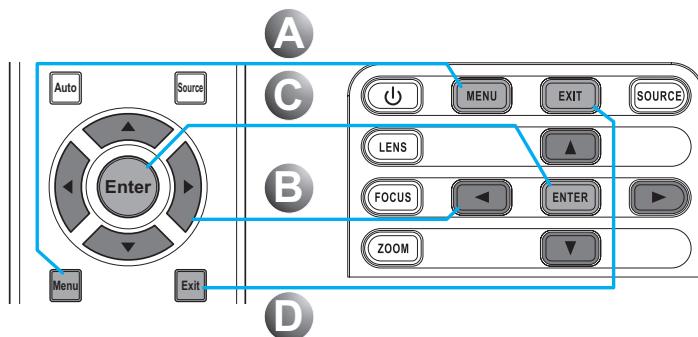
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー設定

OSD メニュー制御

プロジェクタには、画像調整を行い、各種設定を変更することができる OSD があります。

OSD の操作

OSD を操作・変更するために、リモコンのカーソルボタンまたはプロジェクタのキーパッドを使用することができます。



1. OSD に入るには、メニュー ボタンを押します **A**。
2. 矢印キー (**▲▼◀▶**) を使って、メニュー内を移動したり、設定の上下を調整したりします **B**。
3. Enter ボタンを押して、サブメニューに入ったり、選択/設定を確定したりします **C**。
4. 終了ボタンを押して、前メニューに戻ったり、最上位レベルの場合は、メニューを終了したります **D**。

映像	
映像モード	プレゼンテーション
明るさ	50
コントラスト	50
シャープネス	2
色の濃さ	50
色合い	50
位相	50
周波数	50
水平位置	50
垂直位置	50

注意:

ビデオソースにより、OSD メニューの全項目が利用できる訳ではありません。利用できない項目は、アクセスできず、グレイアウトされます。

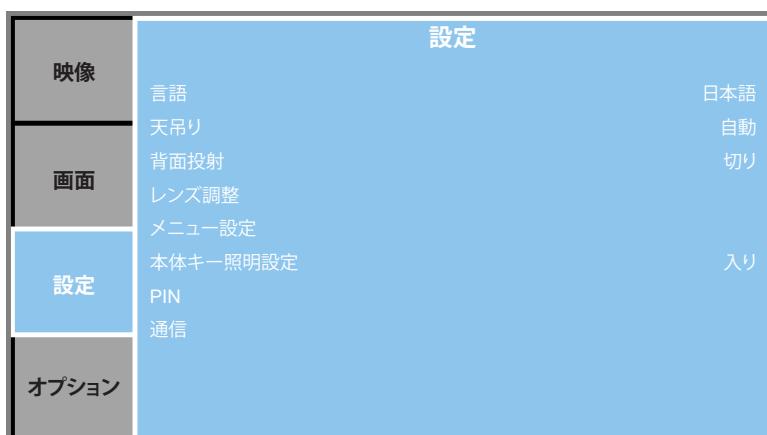
OSD 言語の設定

続行する前に、あなたの好みに OSD 言語を設定してください。

1. メニュー ボタンを押します。



2. 矢印キー (▲▼) を使って、**設定**を選択し、エンターボタンを押して、**設定**メニューに入ります。



3. 矢印キー (▲▼) を使って、**言語**を選択し、エンターボタンを押して、そのサブメニューに入ります。

4. 矢印キー (▲▼) を使って希望する言語を選択し、Enter ボタンを押して確認してください。

5. 終了ボタンを数回押して、メニューを終了します。

言語
English
Français
Español
Deutsch
Italiano
Русский
简体中文
日本語
한국어
Português
Indonesian
Nederlands
العربية

OSD メニューの概要

次の表を使って、設定の検索または設定範囲の決定を素早く行うことができます。

メインメニュー	サブメニュー/設定	デフォルト		
映像	映像モード	プレゼンテーション		
		ビデオ		
		ブライト		
		YPBPR (HDTV)		
		DICOM SIM		
		2D高速		
		3D		
		混合		
		ユーザー		
		調整をユーザーに保存		
映像	3D表示	明るさ	0 ~ 100	50
		コントラスト	0 ~ 100	50
		シャープネス	0 ~ 4	2
		色の濃さ	0 ~ 100	50
		色合い	0 ~ 100	50
		位相	0 ~ 100	50
		周波数	0 ~ 100	50
		水平位置	0 ~ 100	50
		垂直位置	0 ~ 100	50
		3D対応	自動 フレームパッキング サイドバイサイド トップアンドボトム フレームシーケンシャル 切り	自動
HSG調整	HSG調整	3D反転	切り 入り	切り
		DLP Link	切り 入り	入り
		HSG有効	切り 入り	切り
		自動テストパターン	切り 入り	入り
		赤色H.	0 ~ 254	127
		赤色S.	0 ~ 254	127
		赤色G.	0 ~ 254	127
		緑色H.	0 ~ 254	127
		緑色S.	0 ~ 254	127
		緑色G.	0 ~ 254	127
		青色H.	0 ~ 254	127
		青色S.	0 ~ 254	127
		青色G.	0 ~ 254	127

メインメニュー	サブメニュー/設定			デフォルト
映像	HSG調整	シアンH.	0 – 254	127
		シアンS.	0 – 254	127
		シアンG.	0 – 254	127
		マゼンタH.	0 – 254	127
		マゼンタS.	0 – 254	127
		マゼンタG.	0 – 254	127
		黄色H.	0 – 254	127
		黄色S.	0 – 254	127
		黄色G.	0 – 254	127
		ホワイトRゲイン調整	0 – 254	127
		ホワイトGゲイン調整	0 – 254	127
		ホワイトBゲイン調整	0 – 254	127
		色調整を初期化		
	詳細	ホワイトピーク	0 - 100	ソース設定に従う
		ビデオ		ソース設定に従う
		フィルム		
		ブライト		
		テレビ		
		DICOM		
	詳細	ガンマ 2.2		
		最低		ソース設定に従う
		低		
		高		
		ブライト		
	詳細	RGB		自動
		YPBPR (HDTV)		
		YCBCR (SDTV)		
		RGB (Limited Range)		
		自動		
	詳細	赤ゲイン	0 ~ 100	50
		緑ゲイン	0 ~ 100	50
		青ゲイン	0 ~ 100	50
		赤オフセット	0 ~ 100	50
		緑オフセット	0 ~ 100	50
		青オフセット	0 ~ 100	50
		色バランスを初期化		
	詳細	カラーエンハンサ	0 ~ 2	1
		CW速度	2X 3X	2X
	詳細	フィルムモード	切り 入り	切り
		エクストリームブラック	切り 入り	切り
	詳細	DynamicBlack™	切り 入り	切り

メインメニュー	サブメニュー/設定			デフォルト
画面	アスペクト比	自動		
		4:3		
		16:9		
		16:10		
		ネイティブ		
	オーバースキャン	切り		
		ズーム		
		クロップ		
	水平デジタルズーム	50% ~ 400%		100
	垂直デジタルズーム	50% ~ 400%		100
	水平デジタルシフト	0 ~ 100		50
	垂直デジタルシフト	0 ~ 100		50
	歪み補正	PCモード	切り	
			入り	
		水平台形歪み	0 ~ 200	100
		垂直台形歪み	0 ~ 200	100
		水平ピンクッション	0 ~ 100	50
		垂直ピンクッション	0 ~ 100	50
		4角	左上の水平調整 (ピクセル)	0
			左上の垂直調整	0
			右上の水平調整	0
			右上の垂直調整	0
			左下の水平調整	0
			左下の垂直調整	0
			右下の水平調整	0
			右下の垂直調整	0
	PIP/PBP	PIP/PBP	切り	
			入り	
		メイン入力	VGA	
			HDMI	
			DVI-D	
			HDBaseT	
			LAN	
			3G-SDI	
		サブ入力	VGA	
			HDMI	
			DVI-D	
			HDBaseT	
			LAN	
			3G-SDI	

メインメニュー	サブメニュー/設定				デフォルト
画面	PIP/PBP	入れ替え			
		大きさ	小		大
			中		
			大		
		レイアウト	PBP メインが左		PBP メインが左
			PBP メインが上		
			PBP メインが右		
			PBP メインが下		
			PIP 右下		
			PIP 左下		
			PIP 左上		
			PIP 右上		
設定	言語	English			English
		Français			
		Español			
		Deutsch			
		Italiano			
		Русский			
		简体中文			
		日本語			
		한국어			
		Português			
		Bahasa Indonesia			
		Nederlands			
		العربية			
		切り			
天吊り	天吊り	入り			自動
		自動			
		切り			
	背面投射	入り			切り
レンズ調整	フォーカス	フォーカス	フォーカスイン - モーター停止		
			フォーカスイン - モーターステップ動作		
			フォーカスイン - モーター動作		
			フォーカスアウト - モーター停止		
			フォーカスアウト - モーターステップ動作		
			フォーカスアウト - モーター動作		
	ズーム	ズーム	ズームイン - モーター停止		
			ズームイン - モーターステップ動作		
			ズームイン - モーター動作		
			ズームアウト - モーター停止		
			ズームアウト - モーターステップ動作		
			ズームアウト - モーター動作		

メインメニュー	サブメニュー/設定	デフォルト	
設定	レンズ調整	レンズシフト	レンズシフト上 - モーター停止
			レンズシフト上 - モーターステップ動作
			レンズシフト上 - モーター動作
			レンズシフト下 - モーター停止
			レンズシフト下 - モーターステップ動作
			レンズシフト下 - モーター動作
			レンズシフト右 - モーター停止
			レンズシフト右 - モーターステップ動作
			レンズシフト右 - モーター動作
			レンズシフト左 - モーター停止
	レンズキャリブレーション	いいいいえ (ダイアログボックス)	
		いいえ	
	レンズのロック	はい	いいえ
		入り	
	メニュー設定	メニューの透明度	0 ~ 9
		メッセージ表示	切り
		入り	入り
	本体キー照明設定	切り	
		入り	入り
	PIN	パスワード保護	切り
			入り
		パスワード変更	
通信	LAN	DHCP	切り
			入り
		IPアドレス	設定による
		サブネットマスク	設定による
		デフォルトゲートウェイ	設定による
		MACアドレス	設定による
	WLAN	適用	
		有効にする	設定による
		開始IP	設定による
		最終IP	設定による
		サブネットマスク	設定による
		デフォルトゲートウェイ	設定による
		MACアドレス	設定による
	ネットワーク	SSID	設定による
		プロジェクト名	設定による
		ネットワーク機能の再起動	
		ネットワークの初期化	

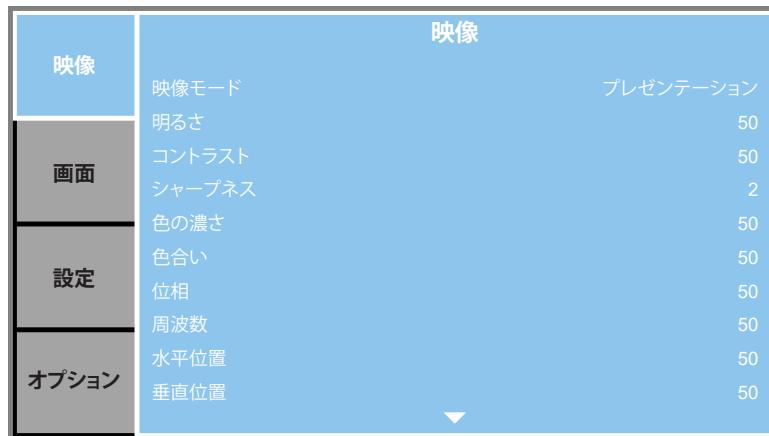
メインメニュー	サブメニュー/設定				デフォルト
設定	通信	シリアル通信速度	9600		19200
			14400		
			19200		
			38400		
			57600		
			115200		
		シリアル通信経路	RS232		RS232
			HDBaseT		
		プロジェクトアドレス	0 - 9		0
		IR リモコン	前方	切り	入り
				入り	
			上端	切り	入り
				入り	
			HDBaseT	切り	切り
				入り	
オプション	自動入力検索	切り			入り
		入り			
	高地モード	切り			切り
		入り			
	テストパターン	切り			切り
		グリッド			
		単色(赤)			
		単色(緑)			
		単色(青)			
		単色(黄)			
		単色(マゼンタ)			
		単色(シアン)			
		単色(白)			
		単色(黒)			
	背景色	ロゴ			ロゴ
		単色(青)			
		単色(黒)			
		単色(白)			
	ホットキー設定	映像ミュート			映像ミュート
		アスペクト比			
		フリーズ			
		オーバースキャン			
電源設定	スタンバイ電源モード	省電力(通信停止)			通常
		通常			
	自動電源オン	切り			切り
		入り			
	自動電源オフ	いいえ			20分
		5分			
		10分			
		15分			
		20分			
		25分			
		30分			

DLP プロジェクター 取扱説明書

メインメニュー	サブメニュー/設定				デフォルト
オプション	電源設定	スリープタイマー	いいえ		いいえ
			2時間		
			4時間		
			6時間		
	光源の設定	光源モード	定電力モード		定電力モード
			定輝度モード		
			Ecoモード		
		定電力モード	0 - 99		99
		定輝度設定	0 - 99		80
		使用時間			
	光源の校正	明るさ校正			
		校正済み?	(表示 はい/いいえ)		
	情報	モデル名			
		シリアル番号			
		ネイティブ解像度			
		ファームウェア			
		メイン入力			
		- 解像度			
		- 信号形式			
		- クロック周波数			
		- 水平周波数			
		- 垂直周波数			
		サブ入力			
		- 解像度			
		- 信号形式			
		- クロック周波数			
		- 水平周波数			
		- 垂直周波数			
		光源モード			
		使用時間			
		スタンバイ電源モード			
		IPアドレス			
		DHCP			
	全てを初期化	はい/いいえ (ダイアログボックス)			
	サービス				

画像メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を押して、**映像**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**映像**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニュー オプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンターボタン**を押して、確定します。



アイテム	説明
映像モード	プレゼンテーション、ビデオ、ライト、YPBPR (HDTV)、DICOM SIM、2D高速、3D、混合、ユーザー定義のプリセットなど、特定の条件下で画像を表示するようにプロジェクタを最適化します。
明るさ	画像の強度を調整します。
コントラスト	画像の最も明るい部分と最も暗い部分の間の差の度合いを調整し、画像の黒色と白色の量を調整します。
シャープネス	画像のエッジの鮮明度を選択します。
色の濃さ	ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。色設定は、ビデオソースにのみ適用されます。
色合い	ビデオ画像の赤色と緑色のバランスを調整します。色合い設定は、ビデオソースにのみ適用されます。
位相	アナログ信号のみ。ピクセルトラッキングが最適化された後、画像にきらめきまたはノイズが表示される場合は、ピクセル位相を調整してください。ピクセル位相により、入力信号に対するピクセルサンプリングクロック位相を調整することができます。
周波数	アナログ信号のみ。画像全体が定常にちらつく場合、または、いくつかのソフト縦縞または帯がある場合は、周波数不良です。適切な周波数により、スクリーン全体の画質が一貫し、アスペクト比が維持され、ピクセル位相が最適化されることが保証されます。
水平位置	利用可能なピクセル領域内の画像を右または左に移動します。
垂直位置	利用可能なピクセル領域内の画像を上または下に移動します。
3D表示	3D 表示設定を行います。「3D 表示メニュー」は 30 ページを参照してください。
HSG調整	色管理設定を行います。「HSG 調整メニュー」は 31 ページを参照してください。
詳細	詳細画像設定を行います。「詳細メニュー」は 32 ページを参照してください。

3D 表示メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を押して、**映像** を選択し、**エンター**ボタンを押して、**映像**メニューに入ります。**3D表示**を選択し、**3D表示**メニューに入り**エンター**ボタンを押して、矢印キー (▲▼)を押してください。矢印キー (▲▼) を押して、メニューオプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
3D対応	3D 形式を設定します。必須 3D 形式およびフレームシーケンシャル 3D@120Hz をサポートします。
3D反転	単一プロジェクタを使用するアプリケーション用に 3D 同期信号を反転します。
DLP Link	3D 同期ソースを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 入り: 3D 同期タイプは、DLP Link です。 切り: 3D 同期源は3D 同期出力ポートからです。

HSG 調整メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー(▲▼)を押して、**映像**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**映像**メニューに入ります。矢印キー(▲▼)を使って、**HSG調整**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**HSG調整**メニューに入ります。矢印キー(▲▼)を押して、**メニュー**オプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー(▲▼◀▶)を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。

HSG調整	
映像	HSG有効 入り
画面	自動テストパターン 入り
	赤色H. 254
	赤色S. 0
	赤色G. 0
設定	緑色H. 254
	緑色S. 0
	緑色G. 0
オプション	青色H. 254
	青色S. 0

アイテム	説明
HSG有効	HGS 調整機能の有効と無効を切り替えます。
自動テストパターン	「入り」に設定し、目標色のためのテストパターンの表示を有効するか、「切り」に設定し、自動テストパターンを無効にします。
赤色H. / 緑色H. / 青色H. / シアンH. / マゼンタH. / 黄色H.	画像の単色(赤)、単色(緑)、単色(青)、単色(シアン)、単色(マゼンタ)または単色(黄色)のチャンネルの色相を調整します。
赤色S. / 緑色S. / 青色S. / シアンS. / マゼンタS. / 黄色S.	画像の単色(赤)、単色(緑)、単色(青)、単色(シアン)、単色(マゼンタ)または単色(黄色)のチャンネルの彩度を調整します。
赤色G. / 緑色G. / 青色G. / シアンG. / マゼンタG. / 黄色G.	画像の単色(赤)、単色(緑)、単色(青)、単色(シアン)、単色(マゼンタ)または単色(黄色)のチャンネルのゲインを調整します。
ホワイトRゲイン調整 / ホワイトGゲイン調整 / ホワイトBゲイン調整	画像の単色(赤)、単色(緑)、または単色(青)チャンネルのホワイトバランスを調整します。
色調整を初期化	色相、彩度、ゲイン、およびホワイトバランス調整を工場出荷時設定にリセットします。

詳細メニュー

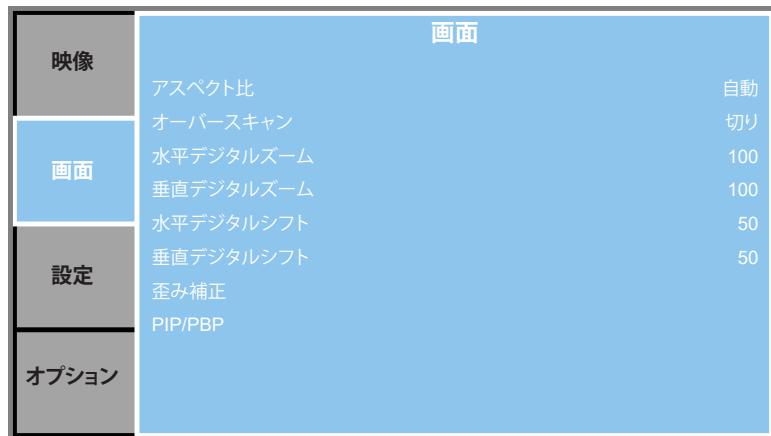
メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**映像**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**映像**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**詳細**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**詳細**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**メニュー**オプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown\blackleftarrow\blackrightarrow$) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。

		詳細
映像	ホワイトピーク	100
画面	ガンマ	ブライト
	色温度	ブライト
	色空間	RGB
設定	色バランス	0
	CW速度	2X
	フィルムモード	切り
オプション	エクストリームブラック	切り
	DynamicBlack™	切り

アイテム	説明
ホワイトピーク	(ビデオソースのみ) 白色の明るさを 100 % 近くに強めます。
ガンマ	適切なガンマをビデオ、フィルム、ブライト、CRT、DICOM、および ガンマ 2.2 から選択します。
色温度	色の強度を調整します。
色空間	特別に入力信号用に調整された色空間を選択します。アナログ信号と特定のデジタルソースにのみ使用します。
色バランス	画像の赤色、緑色、または青色チャンネルのゲインを調整します。これは、黒色および白色に影響を与えます。 画像の赤色、緑色、または青色チャンネルのオフセットを調整します。これは、黒色および白色に影響を与えます。 色調整に対する RGB ゲイン/オフセットを工場出荷時デフォルト設定にリセットします。
カラーエンハンサ	色強化制御は、色彩の高い画像の画質を改善することができます。
CW速度	より高速にすると、一部の人により見られる偽色の発生を低減します。
フィルムモード	フィルムモード検出を制御し、入力ビデオの元のソースが映画またはビデオであったかどうかを決定します。
エクストリームブラック	現在の入力画像を分析し、アナログ-デジタル変換器の黒色レベル値に付加されるオフセット値を算出します。これは、各アナログソースに対する最適な黒色レベルを保証します。
DynamicBlack™	動的黒色機能を有効または無効にします。この機能を有効にすることで、動的にコントラスト比が上昇します。

画面メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**画面**を選択し、エンターボタンを押して、**画面**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、メニューオプションを選択し、エンターボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown\blackleftarrow\blackrightarrow$) を押して、所望の設定を選択または調整し、エンターボタンを押して、確定します。



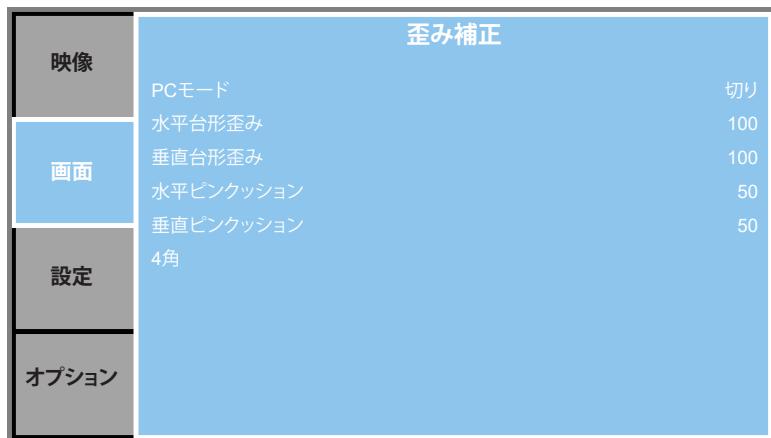
アイテム	説明
アスペクト比	画像を検出されたサイズと共に表示したり、高さ、幅のいずれか、または両方を最大かすることで画像をサイズ変更したり、または、元のアスペクト比を維持しながら、可能な最大サイズにサイズ変更したりします。
オーバースキャン	画像の周りのノイズを除去します。オーバースキャンズームは、元のサイズから 3 % の画像を拡大します。オーバースキャントリミングは、元の画像の四隅の 3 % の有効なピクセルをカットします。
水平デジタルズーム	プロジェクタの表示領域のサイズを水平方向に変更します。この設定により表示領域がサイズ変更された場合、水平デジタルシフトおよび垂直デジタルシフト設定を変更することで、移動することができます。
垂直デジタルズーム	プロジェクタの表示領域のサイズを垂直方向に変更します。この設定により表示領域がサイズ変更された場合、水平デジタルシフトおよび垂直デジタルシフト設定を変更することで、移動することができます。
水平デジタルシフト	デジタルズーム設定により変更された場合、表示領域は水平方向に移動します。
垂直デジタルシフト	デジタルズーム設定により変更された場合、表示領域は垂直方向に移動します。
歪み補正	画像ワーピング設定を行います。「歪み補正メニュー」は 34 ページを参照してください。
PIP/PBP	PIP/PBP 設定を行います。「PIP/PBP メニュー」は 35 ページを参照してください。

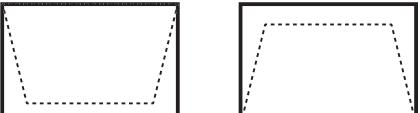
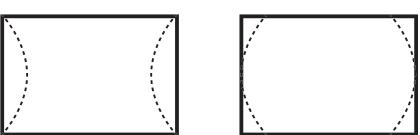
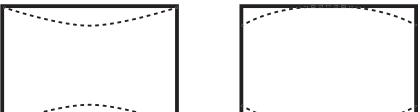
注記:

- 16:9 のアスペクト比を選択すると、入力信号または 1600x1200 の解像度が自動的に 1600x900 に切り替わります。
- 自動が選択され、入力信号が 16:9 の場合、画面タイプは自動的に (1920x1200) になります。
- ネイティブを選択すると、画面は自動的に 1:1 中央マッピングになります。

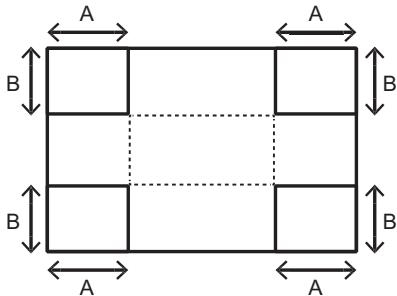
歪み補正メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**画面**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**画面メニュー**に入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**歪み補正**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**歪み補正メニュー**に入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**メニューオプション**を選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown\blackleftarrow\blackrightarrow$) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。



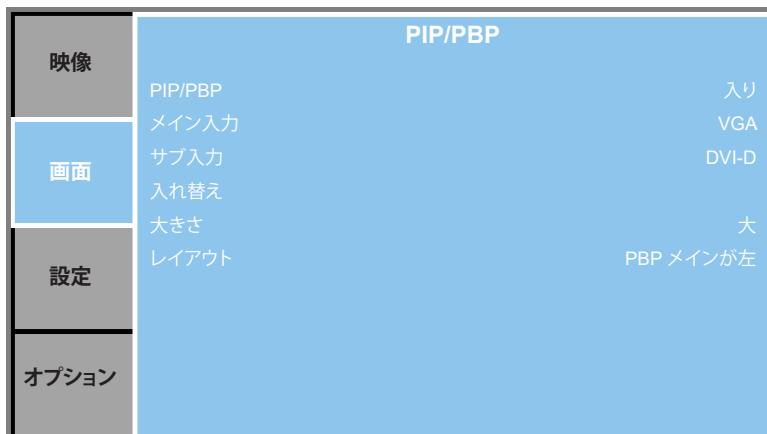
アイテム	説明
PCモード	形状を制御するために、PC ソフトウェアを有効にします。
水平台形歪み	水平方向のキーストーンを調整し、画像をより正方形に近づけます。 画像の左および右の境界線の長さが不均等である台形変形した画像の形状を修正するために水平キーストーンを使用します。これは、水平軸上のアプリケーションで使用することを意図しています。
	
垂直台形歪み	垂直方向のキーストーンを調整し、画像をより正方形に近づけます。 上部および底部が側面の一方に傾斜した台形変形した画像の形状を修正するために垂直キーストーンを使用します。これは、垂直軸上のアプリケーションで使用することを意図しています。
	
水平ピンクション	水平方向のピンクションを調整し、画像をより正方形に近づけます。
	
垂直ピンクション	垂直方向のピンクションを調整し、画像をより正方形に近づけます。
	

アイテム	説明
4角	4 角の各 x および y 位置を移動することで、画像を定義された領域に合せて圧縮することができます。



PIP/PBP メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**画面**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**画面**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、**PIP/PBP** を選択し、**エンター**ボタンを押して、**PIP/PBP**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、メニューオプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown\blackleftarrow\blackrightarrow$) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。

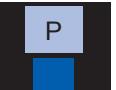
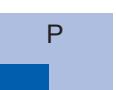
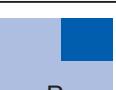


アイテム	説明
PIP/PBP	2 つのソースの表示 (メインおよび PIP/PBP 画像) を同時に、または、一方のソースのみを切り替えます。
メイン入力	有効な入力のリストから、メイン画像として使用する 1 つの入力を選択します。
サブ入力	有効な入力のリストから、PIP/PBP として使用する 1 つの入力を選択します。
入れ替え	メイン画像を PIP/PBP に変更したり、PIP/PBP をメイン画像に変更したりします。PIP/PBP が有効である場合のみ、スワッピングが利用可能です。
大きさ	PIP/PBP サイズを選択します。利用可能なオプションは、小、中または大です。
レイアウト	スクリーン上の PIP/PBP 画像の位置を設定します。

PIP/PBP レイアウトとサイズの表を以下に示します。

➤ P : 一次ソース領域を示します (明るい色)。

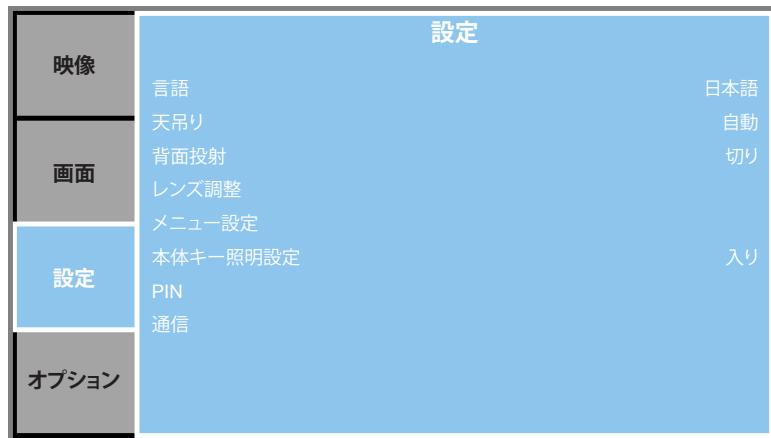
➤ * : 両方のソース領域は、同じサイズです。

PIP/PBP レイアウト	PIP/PBP サイズ		
	小	中	大
PIP メインが左			
PIP メインが上			
PIP メインが右			
PIP メインが下			
PIP 右下			
PIP 左下			
PIP 左上			
PIP 右上			

PIP/PBP マトリックス	HDMI	HDBaseT	LAN	DVI-D	VGA	3G-SDI
HDMI	—	—	—	✓	✓	✓
HDBaseT	—	—	—	✓	✓	✓
LAN (プレゼンター)	—	—	—	✓	✓	✓
DVI-D	✓	✓	✓	—	—	—
VGA	✓	✓	✓	—	—	—
3G-SDI	✓	✓	✓	—	—	—

設定メニュー

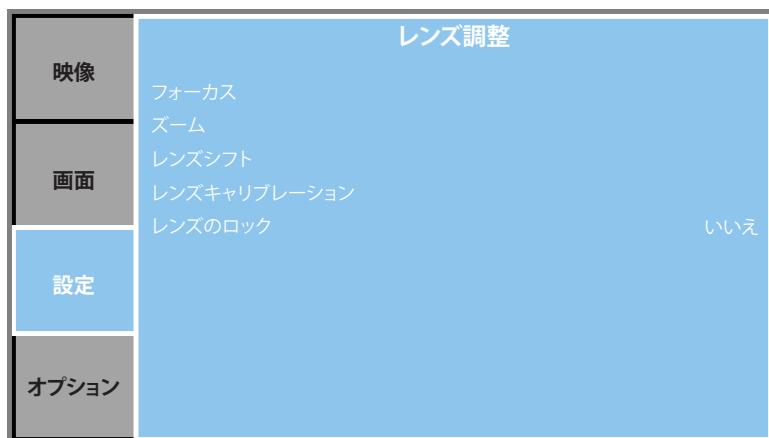
メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を使って、**設定**を選択し、エンターボタンを押して、**設定**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニューオプションを選択し、エンターボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、エンター ボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
言語	この項目により、OSD 表示のために使用可能な言語を選択することができます。
天吊り	天井取り付け投影用に画像を上下逆に回転します。
背面投射	半透明スクリーンの後ろから投影できるように画像を反転します。
レンズ調整	レンズ機能設定を行います。「レンズ機能メニュー」は 38 ページ を参照してください。
メニュー設定	メニュー環境設定を行います。「メニュー設定メニュー」は 39 ページ を参照してください。
本体キー照明設定	キーパッドのバックライトのオン/オフを切り替えます。
PIN	PIN 設定を行います。「PIN メニュー」は 40 ページ を参照してください。
通信	通信設定を行います。「通信メニュー」は 41 ページ を参照してください。

レンズ機能メニュー

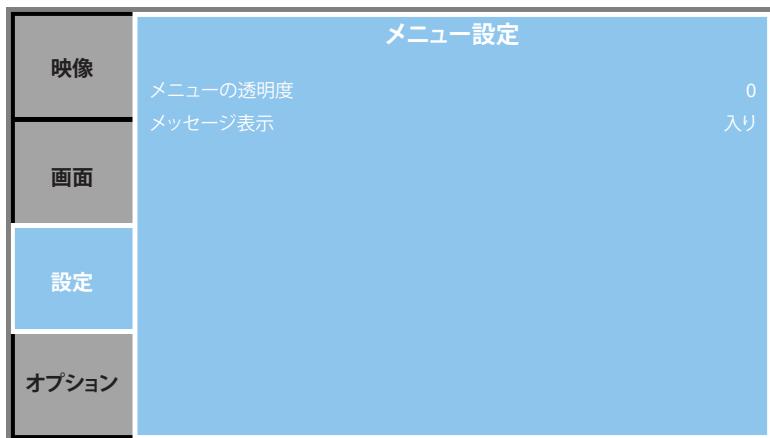
メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を使って、**設定**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**設定**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を使って、**レンズ調整**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**レンズ調整**メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、メニューオプションを選択し、**エンター**ボタンを押し、そのサブメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown\blackleftarrow\blackrightarrow$) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
フォーカス	投影される画像上でフォーカス機能を調整します。
ズーム	投影される画像上でズーム機能を調整します。
レンズシフト	投影される画像をシフトします。
レンズキャリブレーション	校正を実行し、レンズを中心位置に戻します。
レンズのロック	この機能を選択し、全レンズモーターの移動を防ぎます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ はい：レンズシフトがロックされます。 ・ いいえ：ユーザーは、レンズシフトを使用することができます。

メニュー設定メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を使って、**設定**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**設定**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、**メニュー設定**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**メニュー設定**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニューオプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
メニューの透明度	OSD メニューの背景を透明に変更します。
メッセージ表示	スクリーン上にステータスマッセージを表示します。

PIN メニュー

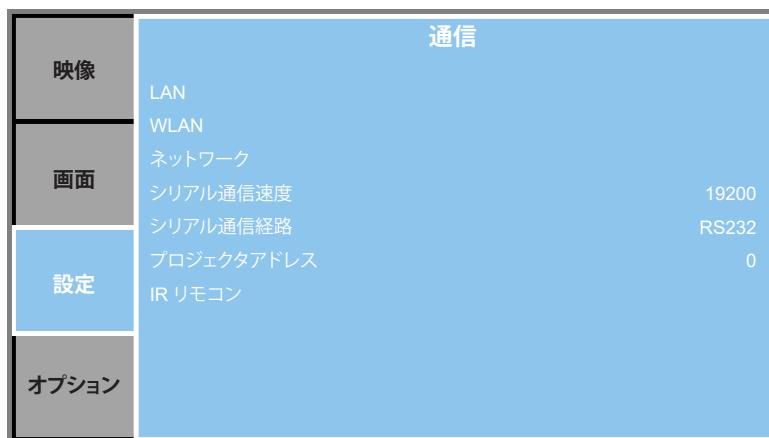
メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を使って、**設定**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**設定**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、**PIN**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**PIN** メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニューオプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
パスワード保護	PIN（個人識別番号）機能により、プロジェクタをパスワード保護することができます。PIN 機能を有効にした後、画像を投影することができる前に、PIN を入力する必要があります。(PIN 既定値: 12345)
パスワード変更	PIN を変更します。

通信メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を使って、**設定**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**設定**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、**通信**を選択し、**エンター**ボタンを押して、**通信**メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニューオプションを選択し、**エンター**ボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、**エンター**ボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
LAN	ローカルエリアネットワーク (LAN) 設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • DHCP: DHCP のオン/オフを切り替えます。 • IP アドレス: ネットワーク IP アドレスを割り当てます。 • サブネットマスク: ネットワークサブネットマスクを割り当てます。 • デフォルトゲートウェイ: ネットワークデフォルトゲートウェイを割り当てます。 • MAC アドレス: ネットワーク MAC アドレスの値を表示します。 • 適用: ネットワーク設定を適用します。
WLAN	無線ローカルエリアネットワーク (WLAN) 設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効にする: WLAN を Enable/Disable (有効/無効) にします。 • 開始IP: 開始 IP アドレス。 • 最終IP: 終了 IP アドレス。 • サブネットマスク: ネットワークサブネットマスクを割り当てます。 • デフォルトゲートウェイ: ネットワークデフォルトゲートウェイを割り当てます。 • MAC アドレス: ネットワーク MAC アドレスの値を表示します。 • SSID: ネットワークサービスセット識別子を割り当てます。
ネットワーク	一般的なネットワーク設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタ名: ネットワークに対するプロジェクタのホスト名を表示します。 • ネットワーク機能の再起動: ネットワークを再起動します。 • ネットワークの初期化: ネットワーク設定で、工場出荷時設定へのリセットを実行します。プロジェクタ名およびネットワーク構成設定がリセットされます。
シリアル通信速度	シリアルポートとボーレートを選択します。
シリアル通信経路	RS232 または HDBaseT のいずれかからシリアルポートのパスを選択します。
プロジェクタアドレス	プロジェクタのアドレスを設定します。プロジェクタは、プロジェクタと同じ、または、アドレス 0 に設定した赤外線リモコンに対するものと同じアドレスを設定した赤外線リモコンに応答します。

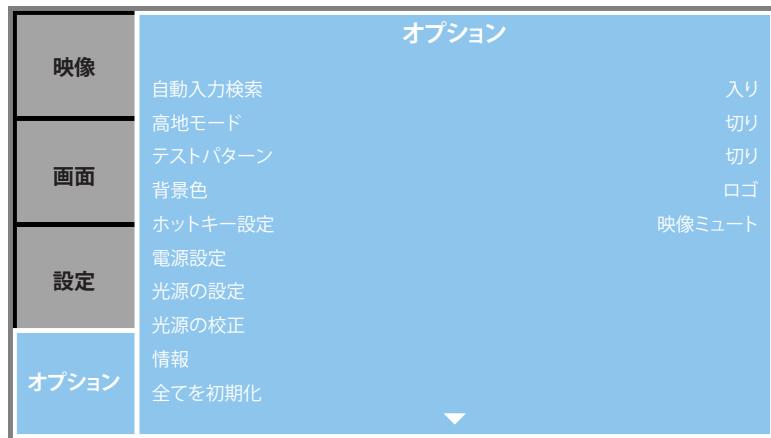
アイテム	説明	
IR リモコン	前方:	入り: 前方 IR センサーを有効にします 切り: 前方 IR センサーを無効にします
	上端	入り: 上端 IR センサーを有効にします 切り: 上端 IR センサーを無効にします
	HDBaseT*	入り: HDBaseT デバイスを介する制御信号を有効にします 切り: HDBaseT デバイスを介する制御信号を無効にします

* 注記:

- ・ プロジェクタの IR リモコンが動作しない場合は、デバイスにより、設定をオン/オフに変更してください。

オプションメニュー

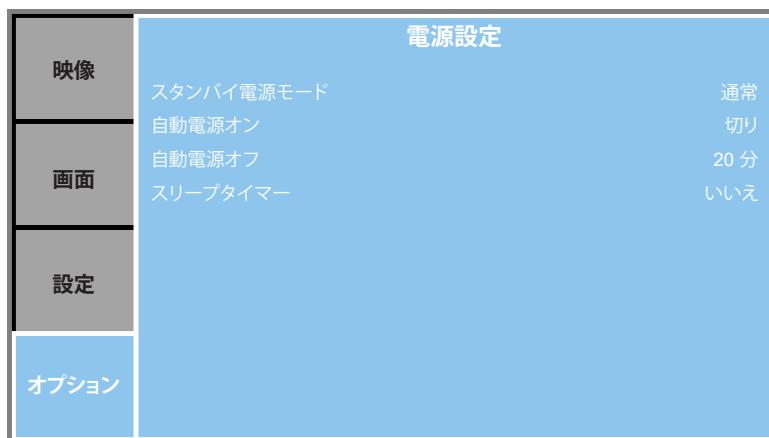
メニュー ボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を押して、オプションを選択し、エンターボタンを押して、オプションメニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニュー オプションを選択し、エンターボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、エンターボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
自動入力検索	「入り」を選択し、現在の入力信号を喪失した場合に、プロジェクタに他の信号を検索させます。設定が無効である場合、プロジェクタは、現在の入力接続のみを検索します。
高地モード	高地モードをオン/オフに設定します。オンである場合、ファンは、高高度で十分な空気の流れを確保するために、高速で動作します。
テストパターン	表示する所望の内部テストパターンを選択します。パターン ボタンを押して、次のテストパターンを表示します。
背景色	この機能を使用して、信号が利用できない場合、「ロゴ」、「単色(青)」、「単色(黒)」または「単色(白)」スクリーンを表示します。
ホットキー設定	リストの機能をハイライト表示させて、エンターボタンを押すことで、リモコンのホットキーに異なる機能を割り当てます。専用キーの無い機能を選択し、ホットキーをその機能に割り当てて、選択した機能を迅速かつ容易に使用することができます。
電源設定	電源設定を行います。「電源設定メニュー」は 44 ページ を参照してください。
光源の設定	光源設定を行います。「光源設定メニュー」は 45 ページ を参照してください。
光源の校正	一定輝度モードを使って光センサーを校正します。これにより、プロジェクタが一定輝度に対して設定できるようにします。光センサーが校正されていない場合、一定輝度モードは無効です。
情報	ソース、解像度およびソフトウェアバージョンのプロジェクタ情報をスクリーンに表示します。
全てを初期化	すべての設定を既定値に復元します。これは、ネットワークをリセットしません。 警告: リセット後、レンズの校正が必要です。
サービス	保守目的の場合のみです。

電源設定メニュー

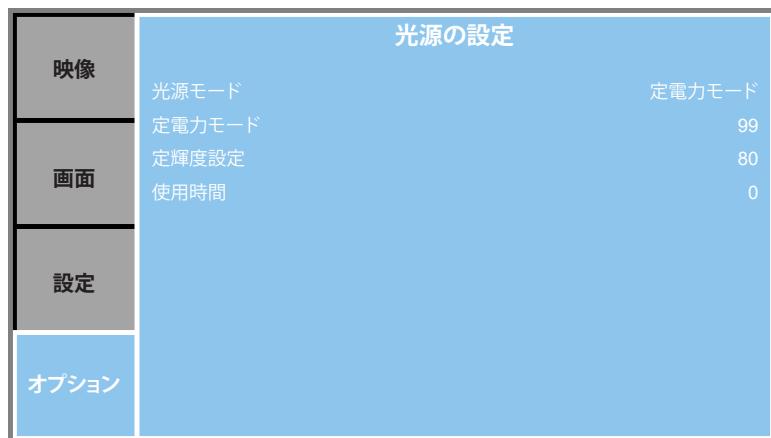
メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、オプションを選択し、エンターボタンを押して、オプションメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、電源設定を選択し、エンターボタンを押して、電源設定メニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown$) を押して、メニュー選択を選択し、エンターボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー ($\blacktriangle\blacktriangledown\blackleftarrow\blackrightarrow$) を押して、所望の設定を選択または調整し、エンターボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
スタンバイ電源モード	スタンバイ電源モードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 省電力 (通信停止)：AC 電源に接続されている場合、プロジェクタはスタンバイモードになります。(0.5W 未満) 通常：プロジェクタは、電源スタンバイ時に LAN 端子を介して制御することができます。
自動電源オン	電源が接続されると、プロジェクタは自動的にオンに切り替わります。
自動電源オフ	プリセットされた時間 (分) の間に信号が検出されないと、プロジェクタは自動的にオフに切り替わります。プロジェクタの電源がオフになる前に、有効な信号が受信されると、画像が表示されます。
スリープタイマー	この項目により、指定された時間が経過した後、プロジェクタは自動的に電源オフになります。

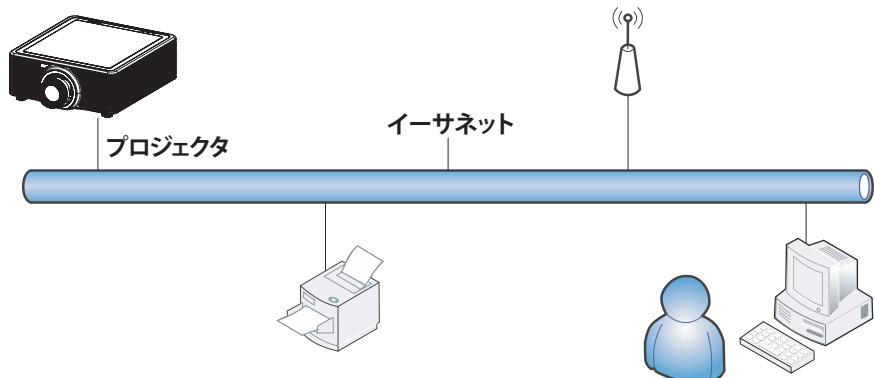
光源設定メニュー

メニューボタンを押して、OSD メニューを開きます。矢印キー (▲▼) を押して、オプションを選択し、エンターボタンを押して、オプションメニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、光源の設定を選択し、エンターボタンを押して、光源の設定メニューに入ります。矢印キー (▲▼) を押して、メニュー オプションを選択し、エンターボタンを押して、そのサブメニューに入ります。矢印キー (▲▼◀▶) を押して、所望の設定を選択または調整し、エンターボタンを押して、確定します。



アイテム	説明
光源モード	定電力モード、定輝度モード、または Eco モードを選択します。Eco モードでは、プロジェクタは最低ファン回転し、最小設定の光源パワーに切り替わります。
定電力モード	光源電力の値 (ワット単位) を設定します。
定輝度設定	一定輝度を維持するために、定輝度モードの値を設定します。光センサーは、光レベルを監視し、光源の明るさが時間をかけて自然に減衰するにつれて、より多くの電力を適用します。光源設定が最大電力に達すると、この設定のままとなります。定輝度モードが正常に動作するように校正するために光センサーを校正する必要があることに注意してください。
使用時間	投射時間を表示します。

ウェブブラウザを使用して、プロジェクタを制御する



有線 LAN 端末機能

また、有線 LAN を介する PC (またはノート PC) からのプロジェクタの遠隔制御と遠隔監視を行うことができます。

Crestron 制御ボックスとの互換性により、ネットワーク上で総合的なプロジェクタ管理だけではなく、PC (またはノート PC) のブラウザ画面上の制御パネルから管理を行うことができます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。

サポートされる外部装置

本プロジェクタは、Crestron Electronics のコントローラと関連ソフトウェア (例えば、RoomView®) の指定されたコマンドによりサポートされます。

<http://www.crestron.com/>

同様にプロジェクタは、AMX および PJ-Link をサポートします。

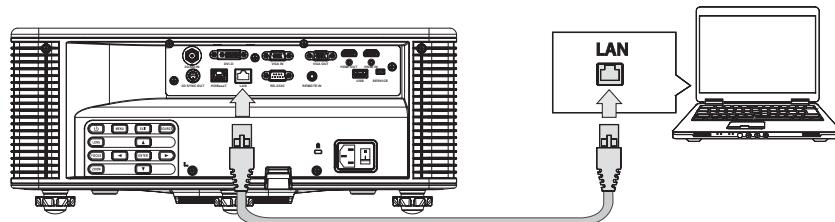
<http://www.amx.com/>

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

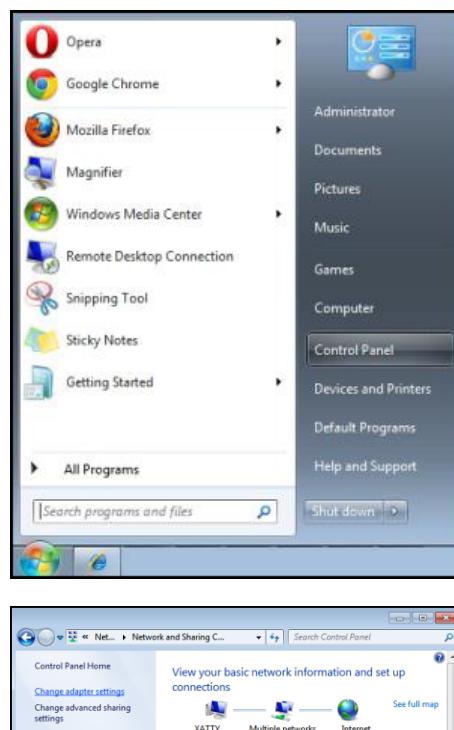
イーサネットポートおよびプロジェクタのリモコンに接続できる外部装置の多様な種類に関する情報、および、各外部装置用にサポートする関連する制御コマンドに関する情報については、サポートサービスチームに直接問い合わせてください。

LAN RJ45 コネクタ

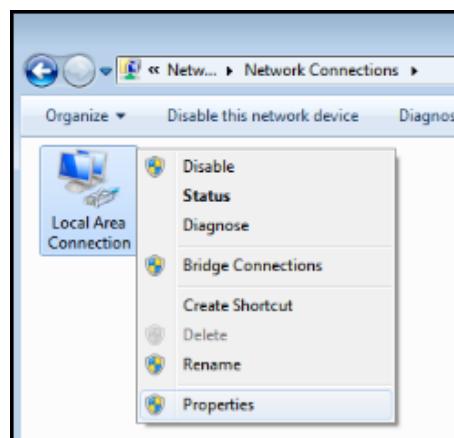
1. RJ45 ケーブルをプロジェクタと PC (ノート PC) のイーサネットポートに接続します。



2. PC (ノート PC) で、スタート → コントロールパネル → ネットワークとインターネット を選択します。

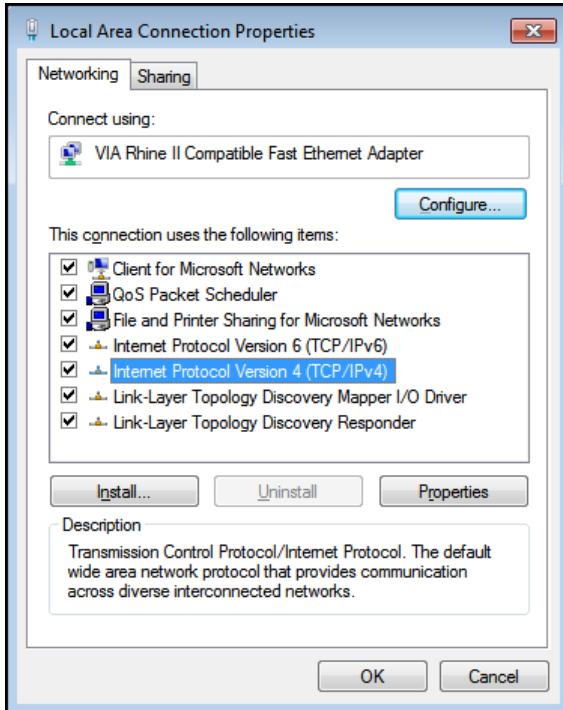


3. ローカルエリア接続 を右クリックして、プロパティ を選択します。

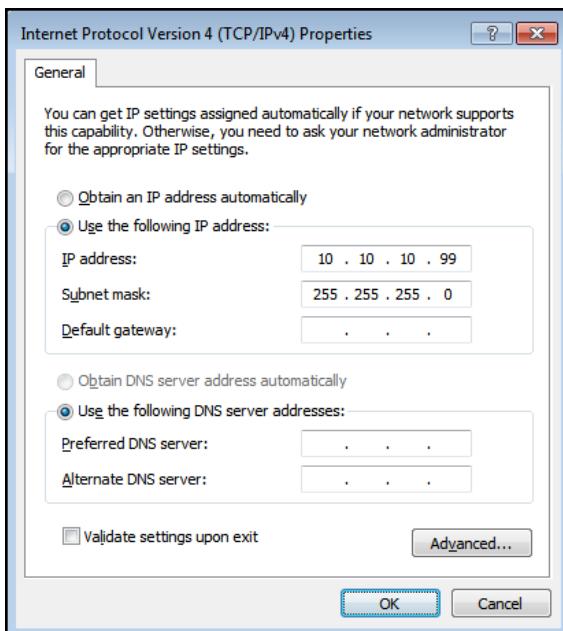


4. プロパティウィンドウで、ネットワークタブを選択し、インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4) を選択します。

5. プロパティをクリックします。



6. 次の IP アドレスを使用するをクリックして、IP アドレスとサブネットマスクを入力し、オーケーをクリックします。

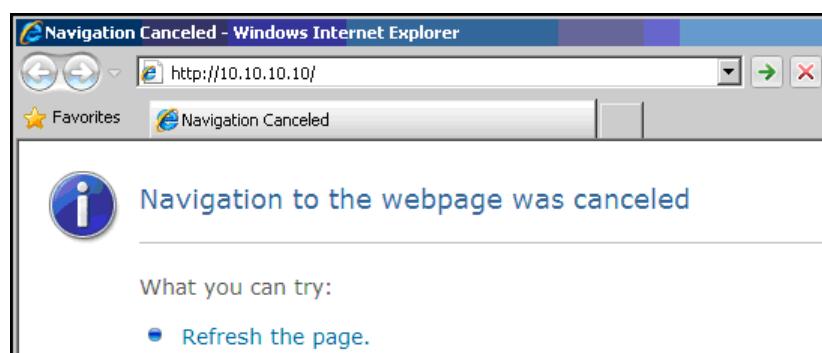


7. プロジェクタのメニュー ボタンを押します。

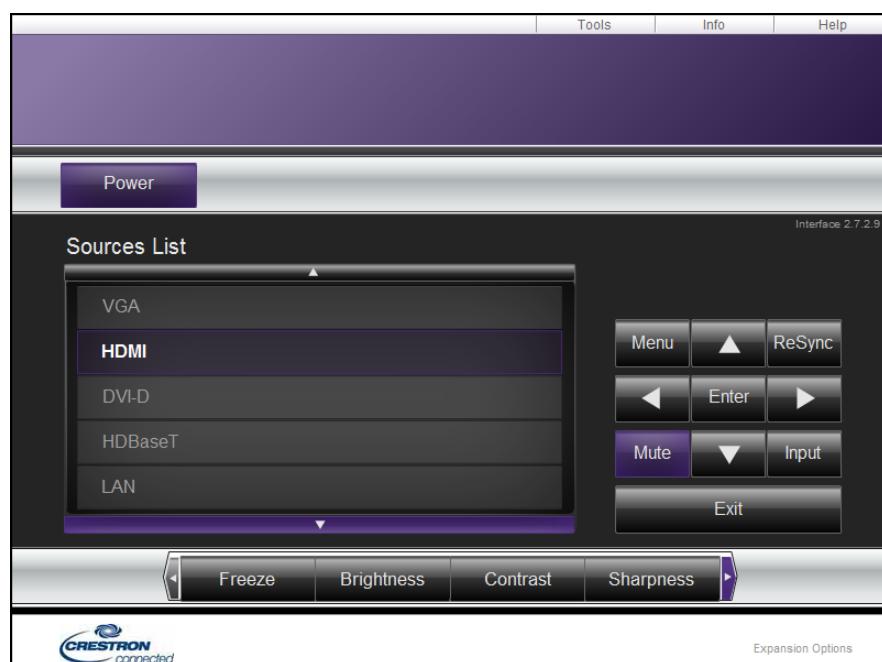
8. 設定 → 通信 → LAN を選択します。

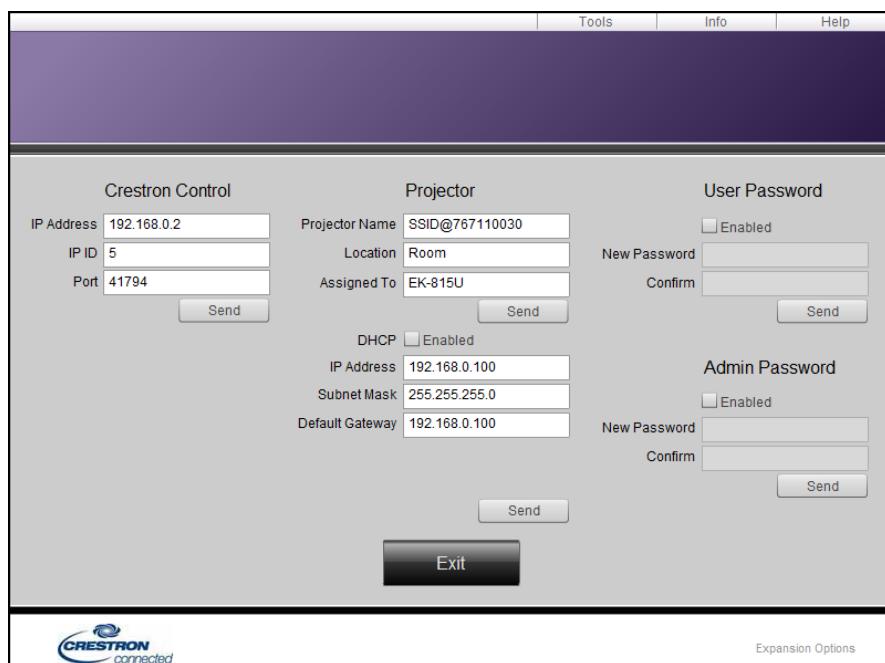
9. LAN に入った後、以下を入力します:

- DHCP: 切り
- IPアドレス: 10.10.10.10
- サブネットマスク: 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

10. 適用 → はいを選択して、設定を確認し、完了するまで待機します。**11.** ウェブブラウザ(例えば、Adobe Flash Player 9.0 またはそれ以降を搭載する Microsoft Internet Explorer)を開きます。アドレスバーに、IP アドレスを入力します: 10.10.10.10.**12. エンター / ▶ ボタンを押します。**

このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能は次のように表示します。





カテゴリ	アイテム	入力長
Crestron 制御	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクタ	プロジェクタ名	10
	位置	10
	割り当て先	10
ネットワーク構成	DHCP (有効)	(該等なし)
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトゲートウェイ	15
ユーザー パスワード	有効	(該等なし)
	新規パスワード	10
	確認	10
管理者パスワード	有効	(該等なし)
	新規パスワード	10
	確認	10

詳細情報については、<http://www.crestron.com> にアクセスしてください。

歪み補正 & 混合機能

歪み補正 & 混合アプリケーションソフトウェアとそのマニュアルは、EIKI のウェブサイトからダウンロードできます。

プレゼンテーション機能

プレゼンテーションアプリケーションソフトウェアとそのマニュアルは、EIKI のウェブサイトからダウンロードできます。

URL: <http://www.eiki.com>

RS232 by Telnet Function

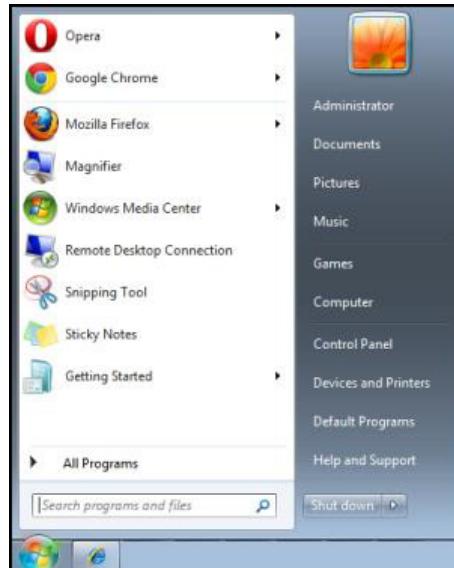
専用 RS232 コマンド制御による「ハイパーテーミナル」通信により、RS232 インターフェイスにプロジェクタを接続するほかに、LAN/RJ45 インターフェイスに対する「TELNET による RS232」と呼ばれる代替 RS232 コマンド制御方法があります。

「TELNETによるRS232」のクイック・スタートガイド

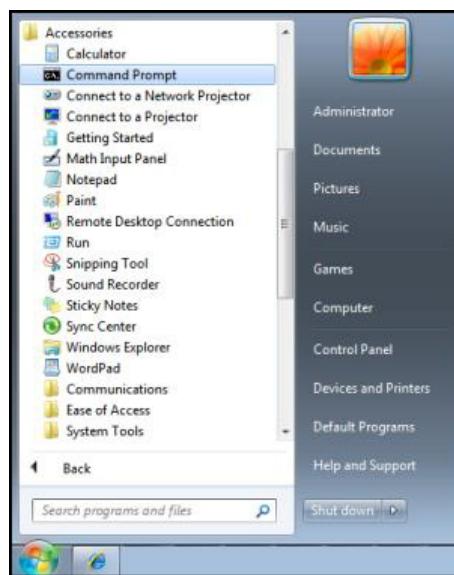
プロジェクタの OSD で IP アドレスを確認・取得します。

ノート PC/PC が、プロジェクタのウェブページにアクセスできることを確認します。

「TELNET」機能がノート PC/PC によりフィルタリングされる場合、「Windows ファイアウォール」設定が無効であることを確認します。



スタート → すべてのプログラム → アクセサリ → コマンドプロンプト



次のようなコマンド形式を入力します:

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 3023 (エンター ボタンを押します)

(ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)

Telnet 接続が可能であり、ユーザーが RS232 コマンド入力が可能である場合、エンター ボタンを押すと、RS232 コマンドが動作可能になります。

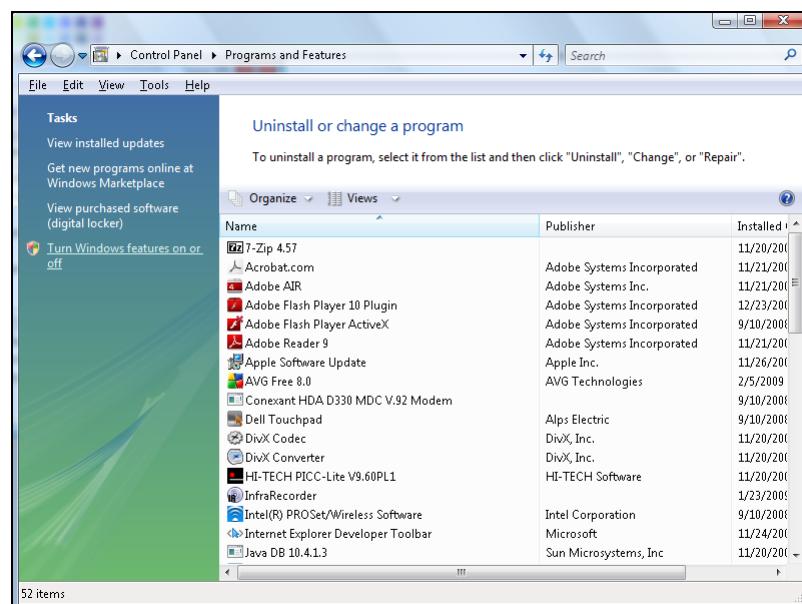
Windows VISTA/7 で、TELNET を有効にする方法

既定では、Windows VISTA のインストールには、「TELNET」機能は含まれていません。しかし、エンドユーザーは、「Windows 機能をオンまたはオフに切り替える」方法により、それを有効にする方法があります。

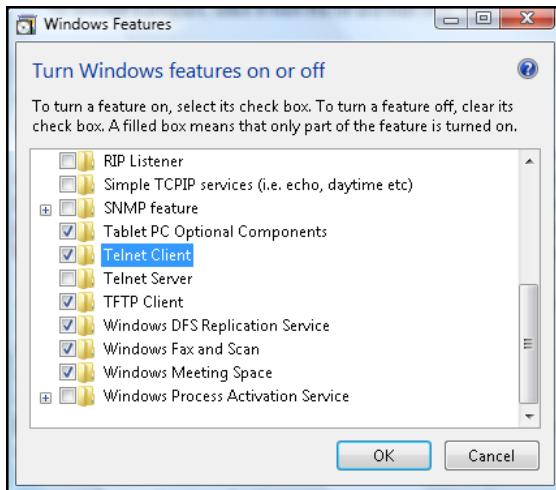
1. Windows VISTA で「コントロールパネル」を開きます。



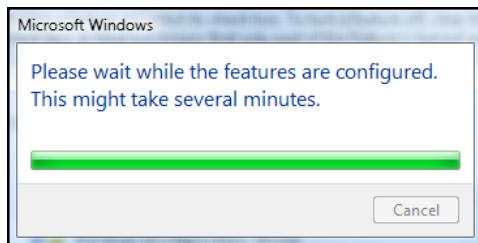
2. 「プログラム」を開きます。



3. 「Windows 機能をオンまたはオフに切り替える」を選択して、開きます。



4. 「Telnet クライアント」オプションにチェックを入れて、**オーケー** をクリックします。



「TELNET による RS232」のスペックシート:

1. Telnet: TCP
2. Telnet ポート: 3023
(詳細は、サービス代理店またはサービスチームに問い合わせてください)
3. Telnet ユーティリティ: Windows 「TELNET.exe」(コンソールモード)
4. RS232-by-Telnet 制御の通常切断: TELNET 接続準備完了後、Windows Telnet ユーティリティを直接閉じます。
5. Telnet 制御の制限 1: Telnet 制御用途に対して、連続するネットワークペイロードが 50 バイト未満とされています。
Telnet 制御の制限 2: Telnet 制御に対して、1 つの完全な RS232 コマンドに 31 バイト未満とされています。
Telnet 制御の制限 3: 次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) を超える必要があります。
(* Windows に組み込まれている「TELNET.exe」ユーティリティでは、エンターボタンを押すと、「Carriage-Return」および「New-Line」コードを作成します。)

保守およびセキュリティ

投影レンズの交換

投影レンズを交換するには、次を実行します:

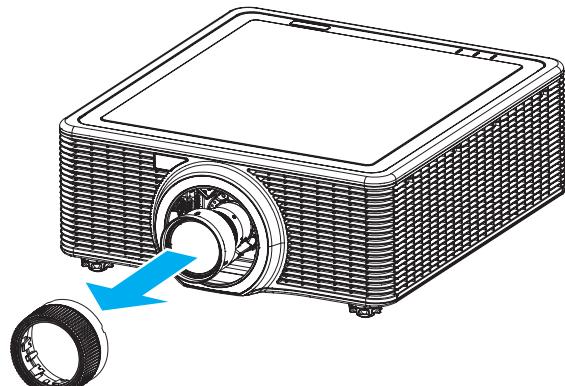
1. レンズを中心位置に配置します。レンズ Hまたはレンズ Vボタン (リモコン上) を使って、その中央位置にレンズを調整します。

重要:

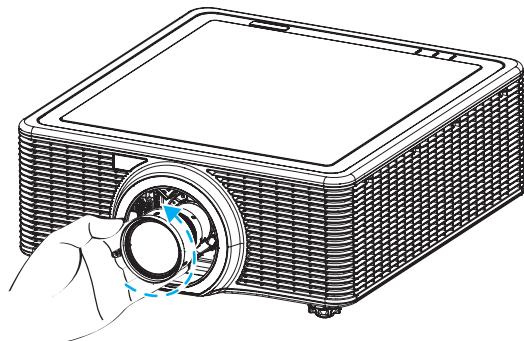
- レンズがその中央位置またはその近くにあることを確認します。
- オフセットが大きい時にレンズを取り外そうとすると、レンズアセンブリを損傷する可能性があります。

2. 冷却後、内蔵キーパッドの「U」またはリモコンの「O」を 2 回押して、プロジェクタをオフに切り替えます。

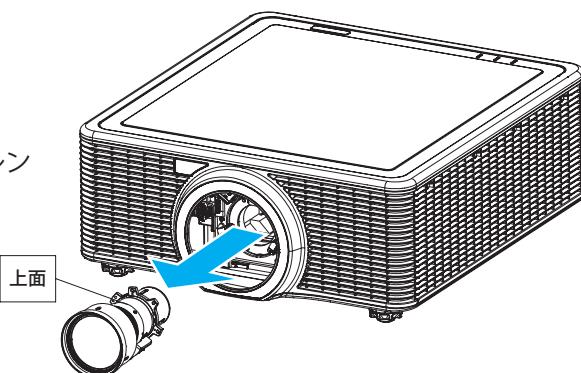
3. レンズからレンズカバーを取り外します。



4. レンズを反時計回りに回して、レンズマウントから外します。



5. レンズマウントからレンズを取り外します。



6. レンズアセンブリの「上面」ラベルを上に向けて、新しいレンズを取り付けます。「投影レンズの取り付け」は 10 ページ を参照してください。

プロジェクターのクリーニング

プロジェクタを清掃し、ほこりと汚れを除去することで、トラブルのない動作を保証します。

警告:

- ・ プロジェクタの電源をオフにし、プラグを抜いて、30 分経ってから清掃してください。そうしないと、重度の熱傷が生じる可能性があります。
- ・ 清掃するときは、湿らせた布のみを使用してください。水がプロジェクタの通風口に入らないようにしてください。
- ・ 清掃中に少量の水がプロジェクタ内部に入った場合は、使用する前に数時間風通しのよい部屋に電源から取り外した状態で置いておきます。
- ・ 清掃中に大量の水がプロジェクタ内部に入った場合は、プロジェクタの修理を依頼してください。

レンズの清掃

ほとんどのカメラ店から、光学レンズクリーナーを購入することができます。プロジェクタのレンズを清掃するために、以下を参照してください。

1. 清潔な柔らかい布に少量の光学レンズクリーナーを適用します。(直接レンズにクリーナーを適用しないでください。)
2. 軽く円を描くようにレンズを拭いてください。

注意:

- ・ 研磨剤または溶剤を使用しないでください。
- ・ 変色または退色を防止するために、プロジェクタケースにクリーナーを適用しないでください。

ケースの清掃

プロジェクタケースを清掃するために、以下を参照してください。

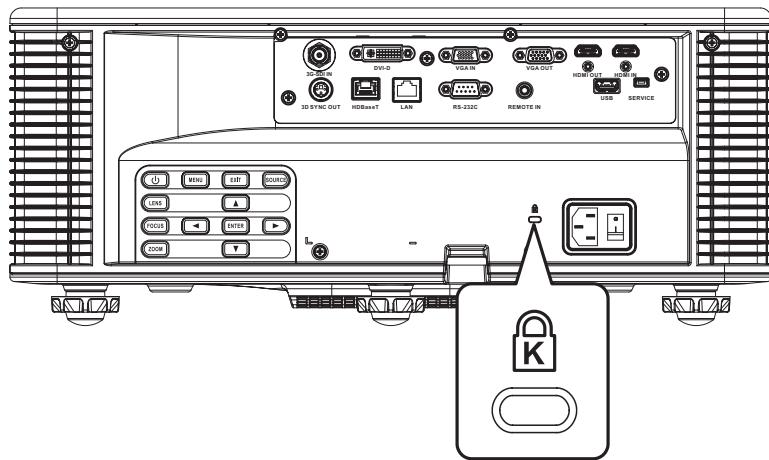
1. 清潔な湿らせた布でほこりを拭き取ってください。
2. 温水と中性洗剤(皿洗いで使用されるような)で布を湿らせ、ケースを拭いてください。
3. 布からすべての洗剤をすすぎ、もう一度プロジェクタを拭きます。

注意:

ケースの退色または変色を防止するために、研磨剤、アルコールベースのクリーナーを使用しないでください。

Kensington® ロックの使用

セキュリティに不安がある場合は、Kensington スロットとセキュリティケーブルを使って、常置オブジェクトにプロジェクタを接続します。



注記:

適切な Kensington セキュリティケーブル購入に関する詳細については、販売店にお問い合わせください。セキュリティロックは、Kensington のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。コメントがある場合は、以下に連絡してください: Kensington, 2853 Campus Drive, San Mateo, CA 94403, U.S.A.
電話: 800-535-4242, <http://www.Kensington.com>.

トラブルシューティング

一般的な問題と解決策

これらのガイドラインは、プロジェクタを使用しているときに発生する可能性のある問題に対処するためのヒントを提供します。問題が解決されない場合は、販売店にお問い合わせください。

多くの場合、問題解決を費やした後、問題は、接触不良のような単純なものに由来されます。問題固有の解決策に進む前に、次のことを確認してください。

- コンセントが機能していることを確認するために、いくつかの他の電気機器を使用してください。
- プロジェクタがオンになっていることを確認します。
- すべての接続がしっかりと取り付けられていることを確認します。
- 取り付けた装置がオンになっていることを確認します。
- 接続された PC が一時停止モードになっていないことを確認します。
- 接続されたノート PC が外部ディスプレイ用に設定されていることを確認します。
(これは通常、ノート PC 上の Fn キーの組み合わせを押すことによって行われます。)

トラブルシューティングのためのヒント

- それぞれの問題固有セクションで推奨される順番にステップを試してください。これは、より迅速に問題を解決するために役立つことがあります。
- 問題の正確な指摘に努め、良品部品を交換しないようにしてください。例えば、電池を交換しても問題が解決しない場合は、元の電池を入れて、次のステップに進みます。
- トラブルシューティングの際に、行ったステップを記録しておいてください: 技術サポートを呼ぶ時、または、サービス担当者に渡すために、情報が有用になる場合があります。

LEDエラー・メッセージ

LEDステータス・インジケータはプロジェクター上部に配置されています。各 LED は以下のように定義されます。

メッセージ	光 LED			ステータスLED			AV 消音 LED	
	単色(緑)	オレンジ	単色(赤)	単色(緑)	オレンジ	単色(赤)	単色(緑)	オレンジ
スタンバイ状態	-	-	-	点滅	-	-	-	-
電源オン(準備中)	-	-	-	-	点滅	-	-	-
電源オン&レーザーダイオードオン	安定	-	-	安定	-	-	安定	-
電源オフ(冷却中)	-	-	-	-	点滅	-	-	-
AV ミュートはオフです (画像は表示されます)	安定	-	-	安定	-	-	安定	-
AV ミュートはオンです (画像は黒です)	安定	-	-	安定	-	-	-	安定
プロジェクタ通信	安定	-	-	点滅	-	-	安定	-
ファームウェアアップグレード	-	-	-	点滅	点滅	-	-	-
エラー(温度超過)	-	-	-	-	-	安定	-	-
エラー(ファントラブル)	-	-	-	-	-	点滅	-	-

画像の問題

問題: スクリーンに画像が表示されません

1. ノート PC またはデスクトップ PC の設定を確認してください。
2. すべて装置をオフに切り替え、再度、正しい順番で電源をオンにしてください。

問題: 画像がぼやけます

1. プロジェクタのフォーカスボタンを押して、フォーカスを調整します。
2. リモコンの自動ボタンを押して、自動的に画像を最適化します。
3. プロジェクタとスクリーンの間の距離が、指定された範囲内であることを確認します。
4. プロジェクタのレンズに汚れがないことを確認します。

問題: 画像の上部または下部が幅広くなっています (台形効果)

1. 可能な限り、スクリーンに垂直になるようにプロジェクタを配置します。
2. リモコンのキーストーン H またはキーストーン V ボタンを押して、問題を修正します。

問題: 画像が反転しています

OSD の 設定 メニューで、背面投射を確認します。

問題: 画像に縞があります

1. OSD の 映像 メニューの位相および周波数を既定値に設定します。
2. 問題が接続された PC のビデオカードにより引き起こされていないことを確認し、別なコンピュータに接続します。

問題: 画像がコントラストなく平坦です

OSD の 映像 メニューで、コントラスト設定を調整します。

問題: 投影画像の色がソース画像の色と一致しません

OSD の 映像 > 詳細 メニューで、色温度およびガンマ設定を調整します。

レーザーダイオードの問題

問題: プロジェクタから光が出ません

1. 電源ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
2. 別な電気装置を使ってテストすることで、電源コードが良好であることを確認します。
3. 正しい順番でプロジェクタを再起動し、光 LED が緑色になることを確認します。

問題: レーザーダイオードが消えます

1. 電源サージが、レーザーダイオードをオフにする可能性があります。電源コードを再接続してください。光 LED がオレンジ色である場合、これは、レーザーダイオードが期限切れになっていることを示しています。次に、内蔵キーパッドの「」またはリモコンの「」を押して、プロジェクタをオフに切り替えます。
2. プロジェクタの修理を依頼します。

リモコンの問題

問題: プロジェクタがリモコンに応答しません

1. リモコンをプロジェクタのリモートセンサーに直接向けてください。
2. ルモコンとセンサー間の経路が妨害されていないことを確認してください。
3. 部屋の蛍光灯を消してください。
4. 電池が正しい極性で取り付けられていることを確認します。
5. 電池を交換します。
6. 近傍の赤外線対応装置をオフに切り替えます。
7. リモコンの修理を依頼します。

プロジェクタの修理を依頼する

問題を解決することができない場合は、プロジェクタの修理を依頼してください。プロジェクタを元の箱に梱包します。問題の説明および問題を修正する際に行ったステップのチェックリストを含めてください。その情報は、サービス担当者に有用である場合があります。修理を受ける場合、購入した場所にプロジェクタを返送してください。

HDMI に関する Q & A

Q. 「標準」HDMI ケーブルと「高速」HDMI ケーブルの間の違いは何ですか？

最近、HDMI Licensing, LLC は、ケーブルを標準ケーブルまたは高速ケーブルとしてテストする旨を発表しました。

- 標準（または「カテゴリ 1」）HDMI ケーブルは、75 MHz の速度または最大 2.25 Gbps で動作することがテストされます（これは、720p/1080i 信号と同等です）。
- 高速（または「カテゴリ 2」）HDMI ケーブルは、340 MHz の速度または最大 10.2 Gbps で動作することがテストされます（これは、現在、HDMI ケーブル上で利用可能な最速の帯域幅で、ソースから増加させた色深度および/またはリフレッシュレートでの 1080p 信号を正常に処理することができます）。また、高速ケーブルは、WQXGA シネマモニター（2560 × 1600 の解像度）などのより高い解像度のディスプレイに適応することができます。

Q. HDMI ケーブルを 10 メートルより長く配線する方法は？

標準 10 メートルのケーブル有効距離を大幅に延長する HDMI ソリューション上で動作する多くの HDMI アダプタがあります。これらの企業は、アクティブケーブル（ケーブルの信号を強化・延長するアクティブエレクトロニクス内蔵ケーブル）、リピーター、アンプ、CAT5/6 および光ファイバーソリューションを含む様々なソリューションを製造しています。

Q. ケーブルが HDMI 認定ケーブルであることを判断する方法は？

すべての HDMI 製品は、HDMI コンプライアンステスト仕様の一部として製造業者によって認定される必要があります。しかし、HDMI ロゴを保有するケーブルが、正しくテストされていない多くの事例があるかもしれません。HDMI Licensing, LLC は、積極的に HDMI 商標が適切に市場で使用されていることを保証するために、これらの事例を調査しています。消費者が評判の高いソースと信頼される企業からケーブルを購入されることをお勧めします。

詳細情報は、<http://www.hDMI.org/learningcenter/faq.aspx#49> を確認してください。

仕様

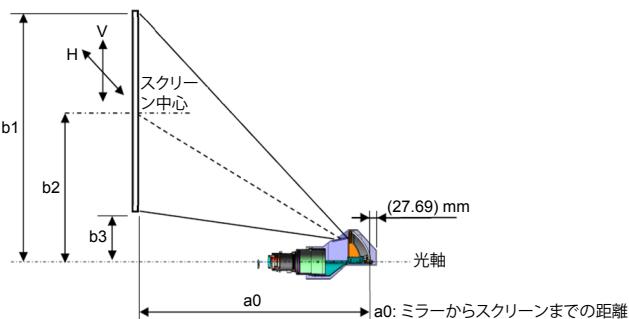
仕様

アイテム	説明
ディスプレイタイプ	0.67 インチ WUXGA DMD
解像度	WUXGA (1920 x 1200)
ズーム/フォーカス	電動
ズーム比	レンズに依存
キーストーン補正	垂直: ± 20 度、水平: ± 20 度
投影方法	前面、背面、机上/天井 (背面、前面)
データ互換性	VGA, SVGA, XGA, WXGA, SXGA, SXGA+, UXGA, WUXGA, Mac
ビデオ互換性	1080 i/p, 720p, 576 i/p, 480 i/p
水平同期	15, 31 ~ 91.4 KHz
垂直同期	24 ~ 30 Hz, 47 ~ 120 Hz
安全性認定	UL/cUL、FCC、CE、CB、CCC (China)、KC/KCC
動作温度	5° ~ 40°C
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	484 x 181 x 509 mm (レンズおよびエレベーターを除く)
重さ	22.94 kg
AC 入力	AC 100 ~ 240 V @ 50/60 Hz
消費電力	395W (Eco 明るさモード)、770W (ノーマル明るさモード)
レーザーダイオードの出力	35W@3A (ノーマルモード)
レーザーダイオードの寿命	標準 20,000 時間 @ 35W (ノーマルモード)
入力端子	1 x HDMI (バージョン 1.4) (固定ネジを含む) 1 x DVI-D (デジタル信号のみをサポート) 1 x VGA 入力 (D-Sub 15 ピン) (コンピュータ入力またはコンポーネント) 1 x HDBaseT 1 x 3G-SDI 入力
出力端子	1 x HDMI (バージョン 1.4) (固定ネジを含む) 1 x VGA 出力 (モニターを経由する VGA ループをサポート) (モニター出力) 1 x 3D 同期出力
制御端子	1 x RS232 (D-sub 9 ピン) (PC 制御) 1 x 有線入力 (3.5mm 電話ジャック) (リモート入力) 1 x USB タイプ A (Wi-Fi ドングル目的用) 1 x Mini USB (LAN FW アップグレード用のみ) (サービス) 1 x RJ45 (LAN) 1 x 赤外線レシーバー (前面および上面)
セキュリティ	Kensington ロック セキュリティバー

注記:

製品の仕様に関するご質問は、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

投影距離対投影サイズ



投影距離とサイズの表

プラットフォーム			WUXGA (16:10)											
DMD			0.67"											
投影レンズ			A16 超短距離 投射		A15 短距離投射		A01 ワイドズーム		A06 標準		A03 ロングズーム		A13 長ロングズーム	
スローレシオの仕様 (強制ワイド/望遠)			0.361 (120")		0.75	0.95	0.95	1.22	1.22	1.52	1.52	2.92	2.90	5.50
ズーム比			該等なし		1.26X		1.28X		1.25X		1.9X		1.9X	
投影距離 (m) (最小/最大)			0.96	2.65	0.79	6.21	1.01	7.98	1.29	9.93	1.61	19.00	3.18	34.77
投影スクリーンサイズ			投射距離 (m)											
スローレシオ定数 c (強制ワイド/望遠)			0.34		0.761	0.966	0.966	1.240	1.236	1.543	1.546	2.948	2.822	5.362
スローレシオ定数 d (強制ワイド/望遠)			5.606		-2.66	-2.71	-3.00	-2.84	-4.14	-4.01	-5.94	-5.18	13.63	11.74
対角 (インチ)	高さ (m)	幅 (m)	該当なし		幅	望遠	幅	望遠	幅	望遠	幅	望遠	幅	望遠
50	0.67	1.08	該当なし		0.79	1.01	1.01	1.31	1.29	1.62	1.61	3.12	3.18	5.89
60	0.81	1.29	該当なし		0.96	1.22	1.22	1.57	1.56	1.95	1.94	3.76	3.78	7.05
70	0.94	1.51	該当なし		1.12	1.43	1.43	1.84	1.82	2.29	2.27	4.39	4.39	8.20
80	1.08	1.72	該当なし		1.28	1.64	1.63	2.11	2.09	2.62	2.60	5.03	5.00	9.36
90	1.21	1.94	該当なし		1.45	1.85	1.84	2.38	2.35	2.95	2.94	5.66	5.61	10.51
100	1.35	2.15	該当なし		1.61	2.05	2.05	2.64	2.62	3.28	3.27	6.30	6.21	11.67
110	1.48	2.37	該当なし		1.78	2.26	2.26	2.91	2.89	3.62	3.60	6.93	6.82	12.82
120	1.62	2.58	0.96		1.94	2.47	2.47	3.18	3.15	3.95	3.94	7.57	7.43	13.98
130	1.75	2.80	1.04		2.10	2.68	2.67	3.44	3.42	4.28	4.27	8.20	8.04	15.13
140	1.88	3.02	1.11		2.27	2.89	2.88	3.71	3.69	4.61	4.60	8.84	8.65	16.29
150	2.02	3.23	1.18		2.43	3.09	3.09	3.98	3.95	4.95	4.94	9.47	9.25	17.44
160	2.15	3.45	1.26		2.60	3.30	3.30	4.24	4.22	5.28	5.27	10.11	9.86	18.60
170	2.29	3.66	1.33		2.76	3.51	3.51	4.51	4.48	5.61	5.60	10.74	10.47	19.75
180	2.42	3.88	1.40		2.92	3.72	3.72	4.78	4.75	5.94	5.93	11.38	11.08	20.91
190	2.56	4.09	1.48		3.09	3.93	3.92	5.05	5.02	6.27	6.27	12.01	11.69	22.06
200	2.69	4.31	1.55		3.25	4.13	4.13	5.31	5.28	6.61	6.60	12.65	12.29	23.22
250	3.37	5.38	1.91		4.07	5.17	5.17	6.65	6.61	8.27	8.27	15.82	15.33	28.99
300	4.04	6.46	2.28		4.89	6.21	6.21	7.98	7.95	9.93	9.93	19.00	18.37	34.77
350	4.71	7.54	2.65		該等なし									

注記:

- 表の値は概算値であり、実際の値とは若干異なる場合があります。
- 天井取り付けの場合、スポットを一致させることが必要です。

タイミングモードの表

信号タイプ	解像度	フレームレート (Hz)	VGA	HDMI	DVI	HDBaseT	3G-SDI
PC	640x480	60	✓	✓	✓	✓	—
	640x480	72	✓	✓	✓	✓	—
	640x480	75	✓	✓	✓	✓	—
	640x480	85	✓	✓	✓	✓	—
	640x480	66.6	—	✓	✓	✓	—
	720x400	70	✓	✓	✓	✓	—
	800x600	60	✓	✓	✓	✓	—
	800x600	72	✓	✓	✓	✓	—
	800x600	75	✓	✓	✓	✓	—
	800x600	85	✓	✓	✓	✓	—
	800x600	120	✓	✓	✓	✓	—
	832x624	75	✓	✓	✓	✓	—
	848x480	50	—	✓	✓	✓	—
	848x480	60	—	✓	✓	✓	—
	848x480	75	—	✓	✓	✓	—
	848x480	85	—	✓	✓	✓	—
	1024x768	60	✓	✓	✓	✓	—
	1024x768	75	✓	✓	✓	✓	—
	1024x768	85	✓	✓	✓	✓	—
	1024x768	120	✓	✓	✓	✓	—
	1152x720	50	—	✓	✓	✓	—
	1152x720	60	—	✓	✓	✓	—
	1152x720	75	—	✓	✓	✓	—
	1152x720	85	—	✓	✓	✓	—
	1152x864	60	✓	✓	✓	✓	—
	1152x864	70	✓	✓	✓	✓	—
	1152x864	75	✓	✓	✓	✓	—
	1152x864	85	✓	✓	✓	✓	—
	1152x870	75	—	✓	✓	✓	—
	1280x720	50	—	✓	✓	✓	—
	1280x720	60	✓	✓	✓	✓	—
	1280x720	75	✓	✓	✓	✓	—
	1280x720	85	✓	✓	✓	✓	—
	1280x720	120	✓	✓	✓	✓	—
	1280x768	60	✓	✓	✓	✓	—
	1280x768	75	✓	✓	✓	✓	—
	1280x768	85	✓	✓	✓	✓	—
	1280x800	50	✓	✓	✓	✓	—
	1280x800	60	✓	✓	✓	✓	—
	1280x800	75	✓	✓	✓	✓	—

信号タイプ	解像度	フレームレート (Hz)	VGA	HDMI	DVI	HDBaseT	3G-SDI
PC	1280x800	85	V	V	V	V	—
	1280x960	50	—	V	V	V	—
	1280x960	60	V	V	V	V	—
	1280x960	75	V	V	V	V	—
	1280x960	85	V	V	V	V	—
	1280x1024	50	—	V	V	V	—
	1280x1024	60	V	V	V	V	—
	1280x1024	75	V	V	V	V	—
	1280x1024	85	V	V	V	V	—
	1360x768	50	—	V	V	V	—
	1360x768	60	—	V	V	V	—
	1360x768	75	—	V	V	V	—
	1360x768	85	—	V	V	V	—
	1366x768	60	V	V	V	V	—
	1400x1050	50	—	V	V	V	—
	1400x1050	60	—	V	V	V	—
	1400x1050	75	V	V	V	V	—
	1440x900	60	V	V	V	V	—
	1440x900	75	—	V	V	V	—
	1600x900	60	—	V	V	V	—
	1600x1200	60	V	V	V	V	—
	1680x1050	60	V	V	V	V	—
	1920X1080	50	—	V	V	V	—
	1920X1080	60	V	V	V	V	—
	1920X1200RB	60	V	V	V	V	—
	1920X1200RB	50	V	V	V	V	—
NTSC	NTSC (M, 4.43)	60	—	—	—	—	—
PAL	PAL (B,G,H,I)	50	—	—	—	—	—
	PAL (N)	50	—	—	—	—	—
	PAL (M)	60	—	—	—	—	—
SECAM	SECAM (M)	50	—	—	—	—	—
SDTV	480i	60	V	V	V	V	—
	576i	50	V	V	V	V	—
EDTV	480p	60	V	V	V	V	—
	576p	50	V	V	V	V	—

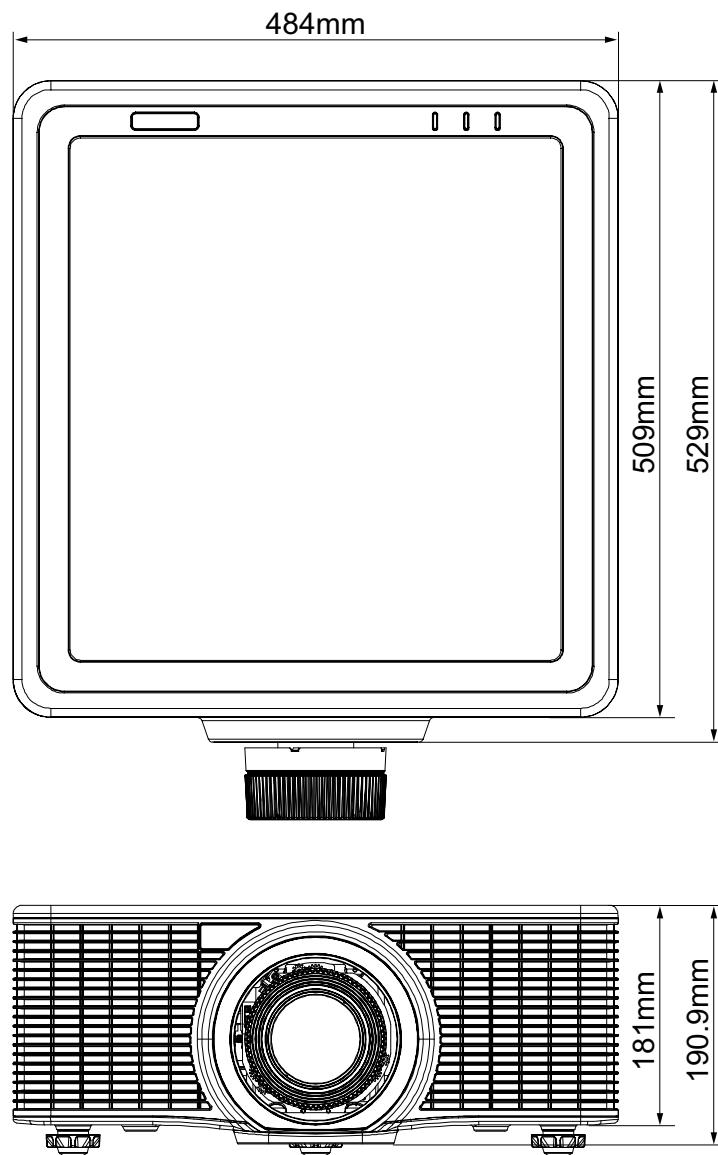
信号タイプ	解像度	フレームレート (Hz)	VGA	HDMI	DVI	HDBaseT	3G-SDI
HDTV	1080i	25	✓	✓	✓	✓	—
	1080i	29	✓	✓	✓	✓	—
	1080i	30	✓	✓	✓	✓	—
	720p	50	✓	✓	✓	✓	—
	720p	59	✓	✓	✓	✓	—
	720p	60	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	23	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	24	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	25	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	29	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	30	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	50	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	59	✓	✓	✓	✓	—
	1080p	60	✓	✓	✓	✓	—
必須 3D	フレームパッキング 1080p	24	—	✓	—	✓	—
	フレームパッキング 720p	50	—	✓	—	✓	—
	フレームパッキング 720p	60	—	✓	—	✓	—
	サイドバイサイド 1080i	50	—	✓	—	✓	—
	サイドバイサイド 1080i	60	—	✓	—	✓	—
	トップアンドボトム 720p	50	—	✓	—	✓	—
	トップアンドボトム 720p	60	—	✓	—	✓	—
	トップアンドボトム 1080p	24	—	✓	—	✓	—
フレームシーケンシャル 3D	800x600	120	—	✓	—	✓	—
	1024x768	120	—	✓	—	✓	—
	1280x720	120	—	✓	—	✓	—
SD-SDI	480i YcbCr422 10 ビット	59.94	—	—	—	—	✓
	576i YcbCr422 10 ビット	50	—	—	—	—	✓

信号タイプ	解像度	フレームレート(Hz)	VGA	HDMI	DVI	HDBaseT	3G-SDI
HD-SDI	720p YcbCr422 10 ビット	50	—	—	—	—	✓
		59.94	—	—	—	—	✓
		60	—	—	—	—	✓
	1080i YcbCr422 10 ビット	50	—	—	—	—	✓
		59.94	—	—	—	—	✓
		60	—	—	—	—	✓
	1080p YcbCr422 10 ビット	23.98	—	—	—	—	✓
		24	—	—	—	—	✓
		25	—	—	—	—	✓
		29.97	—	—	—	—	✓
		30	—	—	—	—	✓
	1080sF YcbCr422 10 ビット	25	—	—	—	—	✓
		29.97	—	—	—	—	✓
		30	—	—	—	—	✓
3GA-SDI	1080p YcbCr422 10 ビット	50	—	—	—	—	✓
		59.94	—	—	—	—	✓
		60	—	—	—	—	✓
3GB-SDI	「1080p YcbCr422 10 ビット 352M ペイロード ID 付き」	50	—	—	—	—	✓
		59.94	—	—	—	—	✓
		60	—	—	—	—	✓

✓ : サポートされる周波数

— : サポートされない周波数

プロジェクタの寸法



規制コンプライアンス

FCC 警告

本装置はテスト済みであり、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス A デジタル装置の制限に準拠しています。これらの制限は、商業環境で動作させた場合、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。

本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、また、無線周波エネルギーを放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地でこの装置を動作させると有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自分自身の費用で干渉を修正する必要があります。

コンプライアンスに責任を負う関係者により明示的に承認された変更または修正は、ユーザーの装置を操作する権限を無効にする恐れがあります。

カナダ

このクラス A デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

安全性認定

UL/cUL、FCC、CE、CB、CCC (China)、KC/KCC



U.S.A.

EIKI International, Inc.
30251 Esperanza
Rancho Santa Margarita
CA 92688-2132
U.S.A.
Tel: +1 800-242-3454 +1 949-457-0200
Fax: +1 800-457-3454 +1 949-457-7878
E-Mail: usa@eiki.com

Deutschland & Österreich

EIKI Deutschland GmbH
Am Frauwald 12
65510 Idstein
Deutschland
Tel: +49 6126-9371-0
Fax: +49 6126-9371-11
E-Mail: info@eiki.de

South East Asia

EIKI Industrial (M) Sdn Bhd
No. 11, Nouvelle Industrial Park,
Lorong Teknologi B, Taman Sains
Selangor 1, Kota Damansara PJU5,
47810 Petaling Jaya, Selangor Darul Ehsan,
Malaysia
Tel: +60 3-6157-9330
Fax: +60 3-6157-1320
E-Mail: sales@eiki.my

China

EIKI (Shanghai) Co., Ltd.
LAKESIDE OASIS MIDDLE RING
BUSINESS CENTRE
Block 1, Room 606,
1628, Jin Sha Jiang Road
Shanghai, 200333
CHINA
Tel: +86 21-3251-3993
Service Hot line: +86 21-3251-3995
Fax: +86 21-3251-3997
E-mail: info@eiki-china.com

Canada

EIKI CANADA - Eiki International, Inc.
9170 County Road 93, Suite 304,
Midland, ON, L4R 4K4, Canada
Tel: +1 800-563-3454
+1 705-527-4084
E-Mail: canada@eiki.com

Eastern Europe

EIKI CZECH SPOL. S.R.O.
Branicka 416/237
140 00 Praha 4
Czech Republic
Tel: +420 241-410-928
+420 241-403-095
Fax: +420 241-409-435
E-Mail: info@eiki.cz

Oceania

EIKI AUSTRALIA PTY LTD
Level 5, 11 Queens Road,
Melbourne, Victoria 3004
Tel: +61 03-8530-7048
Fax: +61 03-9820-5834
E-Mail: sales@eiki.net.au

Japan & Worldwide

EIKI Industrial Company Limited.
6-23 Teramoto, Itami-shi, Hyogo,
664-0026 JAPAN
Tel: +81 72-782-7492
Fax: +81 72-781-5435